

仙台市基本計画（中間案）に寄せられたご意見

※聴取手法のパブリックコメントは「パブコメ」と簡略して表記

1 計画全般に関するご意見（540件）

①はじめに（6件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
1	仙台市の人口自然減が加速している。昨年はマイナスに転じた平成29年以降最大の▲1,331人である。急激な変化を折込み済なのか。自然減を抑制し、就職時の市外流出・社会減に歯止めをかける内容は見当たらない。どの都市にも当てはまる内容ではなく、ここ仙台の「未来予測」に変化を動機付ける強く、熱いメッセージの発信を望む。100万人割れも加速している。	パブコメ
2	「人口減少対策」をもう少し戦略的にコンセプトとして出して欲しかった。	パブコメ
3	基本計画には、1・4・10ページに選ばれることを目標とする記述が目立つ。まちづくりの目標は、そこに住んでいる仙台市民が安心して幸せに暮らしていけることを目標にするべき。選ばれるかどうかはまちづくりの結果である。選ばれるという外部の視線評価を気にするのは施政者やリーダーの上から目線であって、市民の立場に立った発想とは感じられない。選ばれるという目標は撤回して欲しい。	パブコメ
4	10年計画はいつからいつまでの期間なのかわからない。	説明会
5	150万人を目指すのは可能と考えてチャレンジを。	説明会
6	この基本計画を立てるにあたって、人口を何万人に想定するのか。財政面でも非常に、コアな部分だと思う。100万人が200万人になるとは思わないが、また100万人ぐらいの規模で、この基本計画を作られるのか。	説明会
②新たな杜の都に向けて（31件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
7	「挑戦を続ける、新たな杜の都へ」というタイトルは、とても良いと思う。「目指す都市の姿」の都市個性に様々な取り組みがあるが、ここに「平和都市宣言」を加えて欲しい。仙台には75年前米軍による空襲があり1,400名近い方々が亡くなっており、戦後、苦勞された方も多くいらっしゃる中で、その記憶もあと少しで消えていく運命である。「平和都市宣言」をすることで、過去の歴史から学び未来に生かしていく姿勢により、市民が誇りを持ち、他市へのアピールにもつながり、仙台らしさがより出るのではないか。	パブコメ
8	本文の「世界からも選ばれるまち」とか、「常に高みを目指す姿勢の象徴として、最上級を表す『est』』というフレーズの根底には、この社会や都市、コミュニティを蝕んできた競争・成長指向がある。この「挑戦を続ける、新たな杜の都へ」というキャッチフレーズは、永遠に競争し成長し続けようということなのか。「挑戦」には失敗も付き物であるが…。	パブコメ
9	基本計画では、都市の個性について環境、共生、学び、活力の4つに集約しているが、「活力」そのものは個性ではない。その中味である「広域拠点」「広域的な都市基盤」「東北の中核」「都市機能の集積」は、住民の生活の必須条件でもない。環境、共生、学び、活力に描かれている内容は、「いいとこ取り」のみで、行政主導により蓄積されてきた問題、課題等には全くふれられていない。従って全体として「皮相上滑り」で、何をどのように取組もうとしているのか判然としない。	パブコメ
10	上位概念として「安全で安心して暮らせるまちづくり」を掲げて欲しい。この10年間は津波や地震、洪水、新型コロナウイルス感染症等の地球温暖化の問題とも関連して、市民等にとって脅威な事象が相次いで発生し、今後も拡大が懸念される。 また、少子高齢化が進行し、高齢者が安心して暮らせる社会が喫緊の課題であり、市政運営としても、子どもからお年寄りまでが「安全で安心して暮らせるまち・社会」が大前提と考えるからである。	パブコメ

11	<p>ネガティブや保守的なイメージから脱却し、東北の中心都市としての名に恥じない、未来志向の最先端技術を結集した都市への成長を目標に掲げたい。</p> <p>まずは仙台市中心部の街並み整備。街中で、子連れでも休める、子どもを遊ばせられる施設の開設。IT産業の誘致、市街地のIT化整備。便利で、子育てしやすい優しいまちづくりこそ日本一魅力ある都市作りに繋がる。ぜひ次の目標にしたい。</p>	パブコメ
12	「未来と多様性」がテーマにあり、全体的に賛成である。	パブコメ
13	<p>"The Greenest City"と最上級を用いていることに強い違和感を覚える。定冠詞を付して最上級にしたということは、仙台市以外の他のすべての都市を凌駕するということである。それを目標にするなら、凌駕したことを証明できなければいけない。どのような尺度で測り、どのように達成できたと主張するのか。それを示すことができないのなら、安易に最上級を使うべきではない。一方、Greenが何を意味するのかもよくわからない。「私たちが大切にしていきたい様々な意味を込めた」とある。そこには、LivabilityやSustainability、Viability、Generosity、Flexibilityなど人々の暮らしや成長に大切な意味を持つ概念は含まれるのか。英語の語義的に含まれるようには思えないが、仮に含まれているとしてもそれらは単に並列ではない。具体の分野において実現すべき目標に照らして優先順位が変化するなど、異なる関係性が求められる。理念として掲げるのなら、市民が誰でも理解できる言葉で表して欲しい。</p>	パブコメ
14	「挑戦を続ける」ということを前面に掲げており、ぜひ社会や地域の課題解決に向けた挑戦も掲げて欲しい。非常に前向きな内容がまとめられているが、これからの縮小時代にこの内容だけでよいのか、という点が気になる。	パブコメ
15	理念に掲げられている「The Greenest City」という言葉が、多くの方にとってイメージしづらいのではないのか。	パブコメ
16	サブタイトルの「"The Greenest City" Sendai」は、なぜ英語でなければならないのか。理由がわからない。昔の計画には「悠久の杜の都」とか美しい日本語が使われていた。なぜ、美しい日本語を捨てて英語にするのか、窓口の職員が英語を話せるようになる方が先ではないのか。基本計画は市の憲法のようなものだと思う。そんなに大事なものであれば少なくとも表題に来るところくらい美しい日本語で書くべきだ。	パブコメ
17	細やかな多方面への配慮があることは必要なのだろうが、仙台の魅力として「日本一」と誇れる目に見える施策とスローガンが必要であると考え。例えば、「教育日本一」「子育て日本一」「安全（交通・犯罪等）」など、仙台に住むことへの期待が持てるものにしていくべき。	説明会
18	説明会のタイミングとコロナ禍による問題が重なったが、このことへの言及がないと「絵に描いた餅」になってしまうのでは。	説明会
19	まちづくりの理念については、整備すればするほど「緑と石の都市」になっていくと思う。	説明会
20	仙台市としての特徴や魅力は何か。	説明会
21	コロナや5G等、現在の重要なキーワードが抜けているので、時代に合わせた記載を加えて欲しい。	説明会
22	「グリーン」をキーワードにした都市づくりは素敵だと思う。	説明会
23	全体的に、仙台の歴史を体制にする視点やそれを活用した方向性を示すべきではないか。	説明会
24	まちづくり計画を推進するには、牽引者が必要なので、まちづくりの理念に向かって、政策企画課の職員の方々はリーダーシップを持って励んで欲しい。前に進むと必ず問題が出るが、信念を持って進んでください。きっと素晴らしい仙台"The Greenest City"ができると思う。	説明会
25	保守的な印象があるため、100年に1度の時代の大きな転換点にあるという大局観に立って、国の施策を先取りする、世界をリードする「大胆な変革」を期待する。	説明会
26	"The Greenest City" SENDAI"サブタイトルはわかりにくい。「新しい杜の都へ」の方はわかりやすいのではないのか。	説明会
27	コロナ禍の中で、保健所・医療・介護・障害者福祉・保育などが重要で脆弱な実情を改善することが急務であることが明確になり、その充実が市民の共通の願いになっていると思う。「選ばれるまち」「挑戦を続ける」方向性と目標に「暮らしを支える」ことを根幹に置いて欲しい。	説明会
28	国は地方創生と言うが、その動きは少ない。国に頼らず仙台だけで世界に出て欲しい。	説明会
29	市でも歳入がそれほど見込めなくなる時代に入るため、やはり市民の協力も、本当にまさに協働で一緒になってつくり上げていこうというメッセージをもっと強く出さないと、どちらかというと高齢者の方々は、行政に言えば何でもやってくれるのではないのかという時代を過ごしてきた方が多いはずであり、そうではなく、一緒になってやろうよというメッセージを強くしないと多分駄目だろうと感じる。	説明会

30	「選ばれるまち、挑戦を続ける都市」を打ち出しているが、計画全体を通して、暮らしをイメージできるような記載がない。多くの人から選ばれるような仙台になっていくためには、暮らしの安心というものが根底にあり、市民の暮らしを支える役割を果たしていくことを根底に置くべき。	説明会
31	この“The Greenest City”という言葉とか、英語やカタカナなど非常に見栄えがする表現があるのだが、生活感や具体性に乏しくて、ピンとこない。100万都市で、こういう都市計画をつくるという点では、数十人の委員が審議会で議論して作ったとしても、庶民の感覚からかけ離れ、実感に乏しいものにならざるをえない。	説明会
32	今回の基本計画は、日本国憲法に照らしてどうなのか。日本国憲法にある平和理念、平和ということを仙台市としてどのように進めていくのか、それをもっと明確にしていきたい。それから同じように、ジェンダー平等という視点、LGBT。多様な人たちの人権を大事にしていく、その視点もぜひお願いしたい。	説明会
33	もっと県外の人や外国の方に仙台の良さや「また来たい」そして「住んでみたい」と思ってもらえる杜の都になれば良いと思う。	イベント
34	仙台市の未来づくりを多種多様な形で作り上げ、仙台市をより良く成長していくよう、市民一人一人が力を合わせることで、コミュニティを発展させていくことが大事であると改めて理解した。	イベント
35	仙台市をもっと大きな都市にしていく、市民と一体となってグローバルな都市にしていきたい。	イベント
36	国際的に知名度が低いという話があったが、なにか1つ国外に伝わるものなどがあれば良いと思った。	イベント
37	「チャレンジ」がキーワードになっていて、市民の主体性がより重視されている計画だと理解した。市民の「チャレンジ」をサポートする体制をしっかり作って欲しい。	イベント

③チャレンジプロジェクト（175件）

(1)杜と水の都プロジェクトに関するご意見（24件）

①実施の方向性01 「杜の都」の象徴となる都心空間をつくる（6件）

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
38	定禅寺通にあまり頼らない方がいい。六魂祭のときは、杜の都のシンボルである定禅寺通りのケヤキの木があったために、青森のねぶたや秋田の竿灯が中止となり、非常に残念だった。	説明会
39	景観法に則った都市づくりとして、宮城野通を「見どころ」として紹介するのはどうか。	説明会
40	仙台市は杜の都として謳っている以上、森林をなくしてマンションを建てている場所が多くなっていると思う。これ以上、緑をなくさないように建築計画等の制約を設けるのような工夫をして欲しい。	説明会
41	「杜の都」のブランドを大切にしたい（緑を守って欲しい）。	説明会
42	杜の都仙台と言われているが、けやきの美しさ・清々しさの中、ゆっくり歩く空間を大切にしたいと思っている。通に座ってくつろげることができるスペースを定禅寺通だけでなく、青葉通や二番丁通りにも広げ、美術館・青葉城址・広瀬川まで足をのばして散策できる（食べたり飲んだりするお店も増えたら嬉しい）まちづくりを目指したい。	イベント
43	参加者の発言にもあったが、仙台の象徴である定禅寺通をいかに魅力的に再構築できるかが、杜の都・仙台の存在価値を高める鍵になると思う。自由にお店を乱立させるのではなく、テクノロジーを駆使した大型商業施設と伝統的な仙台ならではの店のバランスを取りながら、景観に配慮したコンセプトある出店・建築計画を進めていくべきだと思う。例えば、定禅寺通に東北六県のアンテナショップを設置するなど、東北を牽引する立場としてストリートの有効活用を考えることも、政令指定都市・仙台の責務なのではないか。限られた予算の中で、選択と集中が必要だと思うので、ぜひ定禅寺通への企業出店誘致や補助金制度の導入の含め、前向きに検討して欲しい。10年後、仙台市民はもちろんのこと、日本中、世界中の人が足を運びたくなる定禅寺通そして杜の都・仙台になっていることを切に願う。	イベント

②実施の方向性02 みどりを楽しめる生活空間をつくる（5件）

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
44	清水沼公園来園者の至福のひとつの満足感を持続させるため、公衆トイレ・東屋の定期的修繕と照明設備の更新が必要。公園樹木の剪定と不要樹木の伐採は、予算に関わらず毎年実施して欲しい。清水沼公園周辺の道路のアスファルト舗装の補修工事と並行して、伊達政宗オブジェ等を国道45号線より公園入口まで設置の検討を願いたい。	パブコメ
45	杜の都、広瀬川など仙台には緑と自然をアピールできる環境があると思うので、住みやすく県外の人が居住を考えるまち、観光客も増えるまちづくりを期待する。	パブコメ
46	近隣の自然を生かした徒歩旅行路や、中高年が野遊び可能な公園の整備を。	パブコメ

47	清水沼の命名は、伊達政宗が岩切城攻めのときにこの沼のほとりで軍容をと整えた際に、水鏡に写った勇ましい甲冑姿を見て感激のあまり「澄沼（スズ沼）」と名付けたと言われているからである。湧き出てきた清水の沼であったので、後世で「清水沼」と称え、沼周辺を清水沼と呼ぶようになる。歴史的価値がある清水沼を大々的にアピールしてはどうか。	パブコメ
48	街路樹が沢山あり好きだが、伸びて道路標識が隠れて見えず危ないので管理をしっかりとお願いします。	イベント
③実施の方向性03 水辺を楽しめる親水空間をつくる（13件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
49	広瀬川や東部の海岸公園等の資源に依存した内容になっており、いわゆる実施の方向性01「『杜の都』の象徴となる都心空間をつくる」の「杜の都」として、仙台市民のみならず来仙する観光客がイメージする地域とは切り離されたエリアではないかと思う。「杜と水の都」というのであれば、杜と水は同一の空間で体感できるべきではないか。	パブコメ
50	仙台には、非常に貴重な歴史遺産として四ツ谷用水があるが、これまでも市民レベルで何度も四ツ谷用水を市中心部に復活させようと活動が行われてきたと伺っている。現在暗渠化している四ツ谷用水すべては無理としても、杜の都の中心部に部分的にでも、親水空間の形で復元することを盛り込んでどうか。他の政令指定都市との差別化を図るためにも、特徴的な都市景観を作り出していくことが付加価値向上のため重要ではないかと考えている。柔軟に検討して欲しい。	パブコメ
51	2022年度より高等学校で歴史総合、地理総合が新設（必修）される。近代史の理解が国際社会において大切な要件であり、地理総合では防災と持続可能な社会の構築も主要な内容になっている。仙台の歴史的遺産として四ツ谷用水があるが、これは仙台市民の誇りとする杜の都、そして水の都の創造の原点といえ、地理要件も大きく作用している。これからのまちづくりを担う若者たちの傾注に値するこの遺産の明記を希望する。	パブコメ
52	沿岸部に野外フェスができる施設やアリーナ、ドームなどあれば地下鉄利用者が増えると思う。	パブコメ
53	チャレンジプロジェクトの第一に「杜と水の都プロジェクト」を位置づけ、水の都を目指すことを高く評価する。	パブコメ
54	広瀬川ばかりでなく、名取川、貞山運河、七北田川、梅田川で囲まれていることを明確にするため、計画の中で「広瀬川など」としないで、これらの河川も明記して欲しい。特に排水路機能以外に活用されていない貞山運河をもっと利活用して欲しい。また、六郷堀、七郷堀とその下流、大沼や網の目に流れる用水群を評価して欲しい。	パブコメ
55	七北田川から名取川の間海岸は、全国的にも貴重になった自然海岸である。それを楽しむ仕掛けづくりが必要。市民が海辺を楽しもうと思っても、ほとんどが立ち入り禁止になっている。市民が気軽に海辺を楽しめるようにして欲しい。自然観察や波打際での楽しみ、海水浴、サーフィン、ヨット、ランニングなど、海辺全体を海岸公園と位置付けて、市民が沿岸を周遊して楽しめるようにして欲しい。	パブコメ
56	杜の都の風土と文化を考えるなら、江戸時代や明治時代から仙台市民に対し仙台西部地区（秋保・宮城地区・泉西部地区）里山の住民は、コメや薪、炭の供給地となってきた歴史があり、里山の緑を大事に育ててきたことが、仙台市民の生活と、森のダム、田畑なダムなどといわれる、森の水源として大切に守ってきている認識が必要だと思う。大切な命の水も、森によって守られている。特に仙台西部地区の舟形山系の山々と名取川、広瀬川、七北田川を外すわけにはいかないと思われる。広瀬川だけでなく、名取川上流地区、広瀬川、七北田川の水辺も市民にとっては大事な憩いの場であると思う。	パブコメ
57	かつて街中には用水があり杜を養っていたわけで、杜の都すなわち水の都であり好感が持てる。ただ、川や海などの水辺に楽しめる親水空間をつくとあるが広瀬川と東部の海岸公園やレクリエーション施設以外が見えてこない。四ツ谷用水の復活や六郷堀・七郷堀の利活用（河原町駅から若林区役所まで親水緑道を作るなど）、東部沿岸地帯の賑わいの中に貞山堀を水路として活用するなど提案したい。	パブコメ
58	「広瀬川をはじめとする水辺において」とあるが、水辺としては、比較的な大きな河川の他に、街や田園地帯の中を通る用水路も貴重な水辺空間だと思う。関わり方については考える必要があると思うが、そうした提起のためにも、ここでまず「広瀬川から用水路まで多様な水辺において」といった記載にすることを提案する。	パブコメ
59	荒浜海浜公園の整備によって、市唯一の海水浴場を賑やかな場所に取り戻したい。	パブコメ
60	海岸公園を茨城県の「ひたちなか海浜公園」のように観光化する。	説明会
61	親水公園（安全に広瀬川に入れる）を作りたい。	イベント
(2)防災環境都市プロジェクトに関するご意見（23件）		

①実施の方向性01 防災・減災の備えを日常生活に織り込む（8件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
62	3.11教訓が生かされているかが課題であり、忘れ去った頃に災害はやってくる。防災訓練をやらないマンションとやるマンションの差や、管理事務所の対応の差もある。	パブコメ
63	防災については、より細かい説明が市として必要ではないか。	説明会
64	防災マニュアルの作成等は、単位町内会では人材不足のため作る人がいない。	説明会
65	12ページ、SDGsをかなり押し上げていただいたこのチャレンジプロジェクトに対する思い、そして、各チャレンジプロジェクトの一番最後のところには17の開発目標に対しての目標設定のアイコンが掲載されている。仙台市がSDGs未来都市になられたようだが、こちらの国連に対する考え方は、この企画に沿ったものだったのか。それとも、このたびの状況に合わせて、新たに取り組みされるものなのか。	説明会
66	東日本大震災の節目として、復興のアピールや防災の重要性を改めて示せば良いと思う。	イベント
67	SBL（仙台防災リーダー）だが、地元で活かしたい。（SBLのネットワークがない）	イベント
68	東日本大震災の経験をした人が教訓として若い世代に伝えることはとても良いと感じた。	イベント
69	8つのチャレンジプロジェクトはそれぞれ大切だと思う。願わくば世界情勢や天災などを考えて、防災都市仙台を創って欲しい。忘れがちだが、2018ミサイルアラート等もあったので。	イベント
②実施の方向性02 環境負荷の低い生活・ビジネススタイルを定着させる（6件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
70	12ページSDGsのゴール7に関連して、再生可能エネルギー自体は歓迎すべきでそうになっていくべきだが、例えばメガソーラーを建設するために森林を伐採してそこから土砂の流出など環境破壊例がある。これでは本末転倒である。再生可能エネルギー施設をつくるにも環境を破壊しないための規制・ルールが必要。そのことも基本計画に明記して欲しい。	パブコメ
71	再生可能エネルギーの導入としてソーラー発電は仙台の地域では盛んに取り入れられている。仙台泉区西部地区の福岡地域などは、今まで農地である田や畑がソーラー畑化としている。また、耕作放棄地もソーラー発電に変えてきている。福岡の杉の埜地区では山の木々をなぎたおし、ソーラー発電に切り替えている。二酸化炭素を吸収してくれる、田畑や山を倒してのソーラー化は、防災につながるか心配である。森のダムの減少は、河川等、都市の温暖化防止にとって役に立つのか疑問である。良い方法はないか。	パブコメ
72	環境・エネルギー分野では、脱原発・脱化石燃料を明確にし、再生可能エネルギーの大幅な拡大による小規模・分散型エネルギーシステムを実現するとともに、生態系・生物多様性の維持を保証する循環型社会を築く。	パブコメ
73	グリーンに「サーキュラーエコノミー」を取り入れて欲しい。	説明会
74	「グリーン」が中心であれば、ぜひ「脱炭素」を推進して欲しい。	説明会
75	市政だよりで家庭ゴミに紙が混在しているのを見たが、レジ袋の有料化も始まったが、施策でもこういったものを含めてないのであれば取り入れた方がいい。	イベント
③実施の方向性03 持続可能な都市インフラをつくる（9件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
76	災害拠点としてのJR貨物駅跡地、陸上自衛隊、仙台新港、仙台空港までの道路整備が必要。仙台の軸線となりうる。	パブコメ
77	仙台は、伊達政宗時代より水を利用した土木事業を展開してきたが、代表的な事業として、四ツ谷用水と貞山運河が挙げられる。四ツ谷用水は2016年度の選奨土木遺産に認定されている。仙台には、伊達政宗の時代より、安全で住みやすいまちづくりを長い年月をかけて、すべての階層（武士・商人・農民）の人達の協力で完成に至った遺産事業がある。この遺産事業の経験の活用こそ、次期総合計画に生かされるべきと考える。すなわち、インフラストラクチャーをいかに整備するかである。1時間50mm程度の降水量で下水道が逆流し、床下浸水が発生するような下水棒設備の存在こそが問題視されなければならない。異常気象に対応するインフラの整備として、安定的な電力と水の供給、逆流現象が発生しない下水道本管形状の見直しが挙げられる。生活の根本を支えている基盤の強化こそが、まちづくりに必要不可欠な要因ではないか。	パブコメ

78	環境にやさしいまち"Green City"を標榜するなら、公共交通中心の交通システムの確立は避けられない。フィーダーバスのアイデアは間違いではない。また、自転車利用の推進のために市が行ってきた施策も私は評価している。もう一步前に踏み出して、年次を区切って機関分担率の目標を定め、それを実現する具体的な施策を結びつけて欲しい。周辺市町と連携し、「環境首都」と呼ばれて注目された南ドイツのフライブルクで発行されたすべての公共交通機関に有効な無記名の共通パスである「レギオカルテ」の仙台版も考えてみてはどうか。	パブコメ
79	津波の多重防御に特化したため、特に毎年の雨水排水に問題がある。大津波は300～500年前後であり、毎年の大雨の被害で住めなくなる、大規模な排水設備の構築が必要である。	パブコメ
80	温暖化に伴う大雨による雨水内外氾濫で甚大な被害頻発。例えば、梅田・七北田川が氾濫の危険性があり、地域の内濫雨水を梅田・七北田川に排水できなくなり、地域は内濫雨水で水没し、生活・経済に甚大な被害が発生する。解決策は、海に近い場合、海まで排水溝を構築、排水施設で海に直接排水する。海にはいつでも随時排水できる。	パブコメ
81	仙台は冬に雪が降る地域でもあるので、歩道やバス停周辺の安全性について考えて欲しい。災害に適応できる安全な都市を目指して欲しい。	説明会
82	防災については、水害についてもこれから事業として取り組んで欲しい。	説明会
83	七北田川の洪水対策を。	説明会
84	交通インフラの抜本的改修が必要である。車のためだけではなく（都心部の車中心からの脱却）、歩行者・自転車等の交通弱者の安全なインフラ整備は絶対に必要である。	説明会

(3)心の伴走プロジェクトに関するご意見 (10件)

①実施の方向性01 多様性が尊重される環境をつくる (4件)

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
85	仙台は地域のつながりが強い分、他者への寛容性が低いと思う。商売や観光地にしても、決して“Welcome”な雰囲気が感じられない。急に変わることは難しいが、そこが解決すれば黙っててもリピーターは増える。「Welcomeな心づくり」として、多様性の尊重を育む心を育てたい。	パブコメ
86	身障者や聾啞、盲啞、妊婦の方々に配慮したまちづくり、特に災害時における対応の整備を希望する。	パブコメ
87	ウイルスと同じで0にはできないが、デマやうわさ、根拠のないウソの少ないまちであって欲しい。	イベント
88	見張り合ってつぶし合う関係になる人間関係は避けたい。寛容さ・寛大さのある社会であって欲しい。住みやすくなると思う。	イベント

②実施の方向性02 孤立しない、つながる仕組みをつくる (3件)

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
89	挑戦することが前面に出ており、困難な状況にある人への目線が少ない。挑戦の視点だけでなく、社会的包摂（公助）の視点を計画に入れるべきではないか。	パブコメ
90	今年、大人の引きこもり女性の居場所を立ち上げた。	イベント
91	コロナで分断されていて孤立している人が多い中、相互理解・相互信頼の大切さを感じている。一方で、どうやって築くのかという思いもある。	イベント

③実施の方向性03 心を支える環境をつくる (3件)

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
92	いじめ問題解決が、現市長の第一公約だった。その構造的な問題、過去の教訓は、まとまっているのか。それを、これからの教育現場にどう活かすのか。これに触れるべき。	パブコメ
93	いじめ対象者・引きこもり者・貧困者等が「自己責任論」から開放され、自ら発信できるよう交流の場を。	パブコメ
94	どの子どもも孤立を予防する目に見えない苦しさに寄り添える場づくりの必要性を感じている。	説明会

(4)地域協働プロジェクトに関するご意見 (22件)

①実施の方向性01 多様な協働が生まれる環境をつくる (7件)

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
-----	-------------	------

95	「町内会や商店街、NPOなどの市民参画による『せんだいプラットフォーム』を立ち上げ、地域ごとの課題を次期基本計画に反映させます」と、3年前の市長の選挙公約にあった。市民力・地域力を高めるには、地域ごとに市民が入った検討会を作り、住民の声を反映させないと本当の問題解決には繋がらない。実施計画策定まで区ごとの地域間で検討委員会（秋保町であれば、観光・農業・福祉・交通・教育の分科会を設ける）を作り、作業を進めるべきだ。代替策を講じなければ、公約違反と言わざるを得ない。市長が失敗を恐れず理想を掲げ、チャレンジを続けると言うのであれば、厳しいが市民と結んだ公約も忘れず挑戦して欲しい。	説明会
96	地域協働プロジェクトに関連するプロジェクトを立ち上げて実施する場合は、コストについての助成はあるのか。また、そのプロジェクトについての審査はあるのか。	説明会
97	学生の意見は勉強になった。地域のことを知らない、教えて欲しいと聞くことが大事。高齢化も気になっている。	説明会
98	大学生は地域に興味はなく、興味を示しても打算的なことが多い。	説明会
99	町内会・商店会・NPOなどの市民参画の仙台プラットフォームを立ち上げ、地域ごとの課題を次期基本計画に反映させていくという公約があったため、この地域ごとに住民を交えて検討委員会をつくるなど、10年を目指して、ここ3年間何をやっていくかを検討する場が必要だと思う。	説明会
100	若者たちがこれからのまちづくりを担っていくのであり、若者たちの参加を増やしていく方策をもっと革命的に考えるべきである。	説明会
101	各種活動のエントリーレベルを下げ、気軽に参加できるようにして欲しい、していく。対面だけではなく、リモート・チャットなど手段も増やす、増やしていく。（コロナ禍でせっかくみんなに知れ渡ったので、使わないともったいない！）	イベント
②実施の方向性02 協働の実践機会をつくる（11件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
102	2次及び3次救急医療施設への道路アクセス強化をぜひ盛り込んで欲しい。実際の経験で、仙台西部地区から救急車で朝の7～8時の時間帯において、最短の2次緊急医療施設まで渋滞していたことがあり、50分もかかった。ぜひ、西部地区から救急医療施設までの道路のアクセス強化を盛り込んで欲しい。	パブコメ
103	「⑦TOHOKU未来プロジェクト 01東北を舞台にイノベーションを生み出す（P26）」の中で、地元中小企業に関する記述が見られるが、地元中小企業は経済だけでなく今後の地域社会においても重要な存在であると考え。例えば「④地域協働プロジェクト」にて、「市民や地元中小企業と共に地域社会におけるインパクトを生み出す、そのための環境や仕組みを構築する」というような内容が記述してあると良い。	パブコメ
104	自動の無人運転を実現させたい。	説明会
105	今までは人を集めることでの活動が多かったように思うが、コロナ禍もあったので、新たな視点による活動方式が必要だと思う。	説明会
106	地下鉄東西線開通に伴い、八木山駅までのバスが減便しており、三神峯公園から西の平、八木山へのバスが午前7時台の通勤時に1本も走っていないという異常事態が発生している。少子高齢化で子どもを抱えた若夫婦も引っ越しして来ており、このままではますます衰退町内となるおそれがある。ながまちくんのような小型のバスでも良いので、運行をお願いしたい。	説明会
107	地域交通や買い物機会の確保を。	説明会
108	高齢化が進んでいる地域に住んでいることもあり、高齢者の交通手段の今後に関して関心がある。	説明会
109	人口の少なく公共交通の便が悪いところがいくつかある。自家用車を使わないとなると、特に市営バスは日中は1日に数本しかなく不便なため、検討して欲しい。	説明会
110	市の施策のあり方については、住民参加のまちづくり、地域課題の解決をどう進めていくのかが、いまいはっきりしないという印象を持った。	説明会
111	地域交通、バスをつくる上で、特に朝夕のラッシュ時の運行を充実させていくということについてもお願いしたい。	説明会
112	AIの自動運転に大変興味を持っている。市営バスや地下鉄の社会実験に仙台は率先して取り組んで欲しい。	イベント
③実施の方向性03 地域の交流を活発化させる（4件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法

113	「地域の交流を活発化させる」について、乳幼児や未就学児は、小学生から加入することができる「こども会」という組織がないこともあり、地域と交流する機会、地域を知る機会というのはほとんどないと感じている。特にコロナ禍において、地域の祭りなども中止が相次いでいるため、その機会もさらに激減している。また、小学生になっても「こども会」加入というのは地域によってはほんのわずかしかないという現状もある。（転勤族は特に活動参加が難しいタイミングが多いようで、入会には積極的にはなれないようだ）	パブコメ
114	計画案には「自由でオープンな交流の場づくり」と記載があるが、誰が、どういう場所を使って、そのような場づくりを行っていくのだろうか、と疑問に思った。また、こども会なども従来の組織の在り方でよいのか、を見直していく必要があるのではないかと感じているため、意見を提案する。	パブコメ
115	住民参加のまちづくりと住民自治を進めることを柱の中にしっかり入れて、専門家の派遣など政策ツールを増やして欲しい。各区に住民協議会を設置するなど、その制度化を図って欲しい。	説明会
116	地域の交流を活発化させる場をつくりたいと考えている。子どもから大人まですべての人が楽しめるところ。外国人も障害を持った人も。	イベント

(5)笑顔咲く子どもプロジェクトに関するご意見 (23件)

①実施の方向性01 意欲を引き出し、伸ばす教育環境をつくる (8件)

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
117	学習能力の低下・引きこもり・不登校・運動不足・肥満メタボ・・・全部つながっている。オンライン授業を早期実現し、在宅でも勉強できる環境を整えたい。また、全国テストなどの成績をあげるために、不登校児童へ受験しないよう声がけするのをやめるべき。 子育てにどうしたらよいかわからない親が多い。学校だけではもう解決できない。お節介なほど親への家庭訪問など「親の相談窓口の充実」をするべきである。	パブコメ
118	郷土の振興には地元の歴史教育が欠かせないものと思う。特に、近現代の仙台市の歴史教育を強化することにより、戊辰戦争以降に活躍した多くの偉人を知り、地元を愛し、振興しようとする気持ちが芽生え、結果、次世代の担い手になるものと思う。歴史教育を行い、手段として「(仮称)戊辰記念館」を建設し、広く子供たちに見学してもらうことが重要。「笑顔咲く子どもプロジェクト」として記述することを提言する。	パブコメ
119	P69で、キャリア教育についておざなりに書いてあるが、この部分の理解は余りにも不足であり、誤っている。世界、日本の経済・社会状況への理解とその中で生きていくために、多くの仕事・職業への関心と広い知識を持たせ、個々人の適性と能力をよく把握させ、何にどう取り組んでいけばいいのかを、総合的に教える、考える力を蓄えさせるのが、本来の、本当のキャリア教育である。学力向上などよりもはるかに大切な分野であり、一層重視するべき。	パブコメ
120	子どもたちがゲームに熱中しすぎて、遊びの知らない大人となって大変かと思う。IT教育の重点を置くより、子どもたちが身体を動かすことや書道、民謡、かるた、大縄跳び等の伝統的な遊びを復活させて欲しい。	説明会
121	文教地区(学都仙台)も重点的に子ども・学生たちの学習環境・生活環境を充実させて欲しい。	説明会
122	コロナの環境の中での小学校・中学校のクラス定員について。IT化という方向になっているが、教育は本来対面のサービスであり、人格的な交流、接触による交流も必要と考える。教育に関連するページである中間案59ページには、定員に関する一切触れられていない。具体的なイメージで、どこかに方向性として示されているのが正しいのではないか。	説明会
123	今年度コロナ禍により、スチューデントシティでの学習が中止になった。キャリア教育として、中止ではなく必須くらいの取り入れ方をして欲しい。	イベント
124	コロナ禍で子どもたちの環境が大きく変わっている。核家族増加はもちろん、人とのコミュニケーションを図る環境が少なくなっており、多様な価値観を知る機会をもっと増やしていけたらと考えている。学生のオンライン授業での孤立なども対策・ケアがあることが望ましい。	イベント

②実施の方向性02 個性に合わせた成長の機会をつくる (5件)

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
125	教育はみな平等に、教育に裕福も貧困もない。	パブコメ
126	いじめ・不登校対策については、これまでとは異なる思い切った策を講じる必要があるのではないか。	パブコメ

127	発達の不安など配慮が必要な児童生徒数が、この5年間で診断のある子どもの人数が微増なのに比べて、保護者から支援の申し出はないが、配慮を必要とする人数がかなり増えている。アーチルに予約したが、なかなか相談に行けないなどの声はよく耳にする。親が、子どもの発達に対して悩んでいるときになるべく早くに、適切な支援が受けられる体制づくりがあることが、その後の親子の関係にも影響するのではないか。	パブコメ
128	子どもの学ぶ環境の充実を図って欲しい。特に不登校児童・生徒が学べるフリースクール等を。	説明会
129	平成25年に障害者差別解消が法令化され、仙台市では、平成28年に全国に先駆けて条例を制定したが、まだ認知度が低い。障害者の差別を解消するためにはいろいろな障壁があるが、あまり大人に呼びかけても、効果がないようなので、子どものうちから教育することが大切ではないか。	説明会
③実施の方向性03 子育てを楽しめる環境をつくる (10件)		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
130	「子育てを楽しめる環境をつくる」より「子育てに心からの幸せを感じることでできる環境をつくる」ことが大事なのではないか。	パブコメ
131	「子育てを楽しめる環境をつくる」ために必要な情報にアクセスしやすい環境や、オンラインなどで相談できるなどの環境を整備していくと記載してあるが、現在、「仙台子育て」などのキーワードで検索して上位にあがってくる情報は、果たしてその役割を果たしているのだろうか、と疑問に感じている。例えばスマートフォン対応になっていないこともその理由の一つである。	パブコメ
132	健診や助成金などの必要最低限の情報は掲載されているが、足りない部分が多いと感じている。「子どもを育てる」ことに寄り添った情報、ママたちが知りたいと思える情報、仙台に転勤や引っ越しする予定の方たちの不安や疑問解消のための情報、仙台に来ることに期待感を持てる情報などが不足していると感じている。もっと多方面から「子育てを楽しめる環境都市」になれるような情報提供をしていくべきなのではないか、それも読みやすさや利便性を考えた上での情報提供をしていくべきではないかと思うので、官民一体となってそのような環境作りをしていくとよいのではないか。	パブコメ
133	4か月健診など同じ月齢の子どもと親が集まれるせっかくの機会をもっと活かすべきではないか。例えば、東京都の品川区では、区の保健センター主催で同じ誕生日月の集まり会や健診のタイミングでの交流会があった。近所のママ友ができ、孤育てにならずに済むこともあると思う。「つながり合うきっかけ」があるだけで救われるママや子どもはたくさんいる。SNSで情報をキャッチし、活動に参加してくるママたちはまだいいが、それがなかなかできないママたちもいると思う。コロナ禍という状況もあるが、もっと「子育てを楽しめるきっかけ」を提供するという視点をもって、施策などを考えて欲しい。	パブコメ
134	みどりを守り育てることと同様、子どもが虫取りなどで遊びの中でみどりと触れ合いことが大事になってくると思う。子どもが身近な自然と遊び触れ合う、といったシーンも想定できるような表現にしてはどうか。	パブコメ
135	マリンアクティビティのようなものが連想されるレクリエーションという言葉だけでなく、子どもが生き物をとったりしながら遊び自然と触れ合う、といったシーンが想定できるようなものにしてはどうか。	パブコメ
136	「様々な遊びに触れることができる環境づくりを進めます」という方向は良いと思う。仙台市は、街のすぐ近くに自然がある恵まれた環境。「自然豊かな身近な環境を見直し自然とふれあいながら遊ぶ」といった記述を入れてはいかがか。コロナ禍のようなこともある。少し上の世代の方が経験してきたように、身近な環境で遊ぶ知恵を身につけることが大切だと思う。	パブコメ
137	「これらの情報を効果的に発信することにより」については、「発信する」一方向だけより、「世代を超えて共に考え合う」といったことが大切だと思う。取り囲む大人がどのような価値観を持っているかで、子どもが遊べる環境は大きく変わる。特に、祖父母世代などは豊かな遊び経験があるので、その知恵を次世代に伝えていただければ意義は大きいと思う。	パブコメ
138	子どもを育てやすいまちであれば人は集まるし、人が集まればまちは栄えると思う。	説明会
139	少子化が進んでいて、コロナ禍もある今、妊婦や乳児を控えた母親は不安な毎日を送っている。一部の行政でもあるように、病院へ行くための無料タクシーやワクチンの無償化、国でも提言している不妊治療費の免除を先がけて行うなど、母子が安心して生活できる環境づくりを行って欲しい。	イベント
(6)ライフデザインプロジェクトに関するご意見 (9件)		
①実施の方向性01 まちの至る所で学びと実践の機会がある環境をつくる (4件)		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
140	3.11ボランティアを奮い立たせたのは歌。杜と歌のようなライフデザインが乏しい。	パブコメ

141	日本一元気な地方都市を目指し、特に若い世代と外国人観光客に魅力的な都市づくりを進めるべきで、仙台城復元や国際センター駅周辺を金沢兼六園付近の様な歴史を感じさせるまちづくりへ。	パブコメ
142	学都仙台としてのうおいとやすらぎをもたらす都市として、「文化・芸術」の視点が必要だと思う。チャレンジプロジェクトに「文化・芸術」の文言が不足しているように感じている。	説明会
143	キーワード等に「城下町」が出ていないのが少し残念である。	説明会
②実施の方向性02 誰もが活躍できる環境をつくる (3件)		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
144	高齢者で元気な人が活動できる環境整備（スポーツサークル等ではなく生きがいを感じられるもの）を充実させて欲しい。市民学級やシルバーセンターのようなものでは不適當。	説明会
145	人生100年時代なのに、活かせていない。	イベント
146	同じ障害者でもコロナ対策、そして歩行が難しい方でも安心して取り組める機会があればと思った。さらに掛け合わせというのもあったように、就職活動において仙台は求人率が東京より低いと言われており、仙台としての経済をもより良い環境・発展できれば、県外へ人口流出が少なくできると思う。	イベント
③実施の方向性03 ライフステージに合わせた健康を支える (2件)		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
147	食事摂取基準は病気・感染症等の予防の決め手である。国の科学的な食事摂取基準があるにもかかわらず、市民は食事摂取基準を知らされず、グルメ志向の非科学的な栄養摂取（食事）で病気・感染症等の多発に気付いていない。	パブコメ
148	600世帯（会員外も含めると800世帯）のうち、70歳以上は2～3割の超高齢地域となっている町内会がある。要援護者リストにも多くの方が登録されており、健康への不安や物忘れが進行した人も多くいる。町内会の事業として本年から「老人会」はやめて「健康サロン」を立ち上げ、健康相談会の実施や介護、物忘れ防止の講座等で健康維寿命の延伸を図る取り組みを行うことにした。市として、この高齢者の安心・安全な健康増進を具体的に立案し、町内会単位に提示し指導して欲しい。高齢者医療費の抑制につながるものである。地域包括支援センターでは対応できないため、市直轄でご指導願いたい。	説明会
(7)TOHOKU未来プロジェクトに関するご意見 (26件)		
①実施の方向性01 東北を舞台にイノベーションを生み出す (6件)		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
149	閉塞感のある東北の中での仙台の存在役割、リードしていく位置付けや考え方をもっと出しても良いのでは。	パブコメ
150	東北の雄である仙台市が行うべき目標が設定されていることは、これからの東北にとって非常に重要なことである。	パブコメ
151	NPOなどサードセクターや、市民活動団体は「地域の活力を生む」だけの存在ではないだろう。むしろ彼・彼女らは、SDGsに関連するような社会課題に向けてもアクションを起こし、イノベーションを生み出していくような存在だと思う。中間案では「④地域協働プロジェクト」以外の箇所での記述が薄い印象を受ける。例えば「⑦TOHOKU未来プロジェクト」においても、NPOなどのサードセクターや、市民活動団体についての記述（位置付け）がなされているのが自然であると考えます。	パブコメ
152	「TOHOKU未来プロジェクト」含め、閉塞感のある東北に活気を取り戻すための仙台の位置付けも、もう少し「減少対策」も絡めた夢のあるコンセプトを出して欲しかった。	説明会
153	仙台市、そして東北が日の目を浴びるために考えることは何か。	説明会
154	せっかく学都仙台で学んできた人が、就職するといなくなってしまう。新しく起業したいという若い人たちに、場所の提供をお願いしたい。やる気のある若い人たちが、仙台で一生懸命仕事をできる環境をつくって欲しい。	説明会
②実施の方向性02 仙台・東北の産業の成長を支える (5件)		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
155	東北の中心というだけで、これまでの支店経済、工業集積の欠如などを、どうどのように改変していくのかという視点もない。放射光施設、駅周辺の再開発…位しか、発想がないのか。	パブコメ

156	東部地区の農業の発展と仙台西部地区の農業の維持や活性化も同時に必要な事業だと思う。仙台市では、耕作放棄地の減少の推移や、農業の人口の減少は、まだ明確に示していないが、確実に高齢化とともに減少している。仙台西部地区の里山は離散農家とともに農業をあきらめて行く人々は、今後の10年間で農業人口は半分にまで減少していくように思われる。足元の仙台の農業をあきらめて、政令都市として、周りの地域の産業の成長を支えることもすごく大事なことだが、本末転倒で、仙台西部地区の農業の発展は見込めない状況に至っている。本気で、地産地消と、里山の環境を考えていかなければいけない。ご協力願いたい。今、里山の崩壊が目の前に来ている。未来が見えず創造できない。	パブコメ
157	農業をはじめとする一次産業分野も軽視することなく、地産地消の拡大を重視する。企業の経営の導入や六次産業化の推進においては家族経営を圧迫せずに両立できるように農業者の要求に応じて市が役割を果たす。生産活動の面だけでなく、一次産業が果たす環境、防災への貢献を軽視せず、農地や森林の保全・維持に努める。	パブコメ
158	仙台市の発展は、自動車産業や製造業ではなく、アイデアで勝負できるデジタル産業と観光業しかない。「スーパーシティ」の旗の元①「マイナンバーはMy Dataである」を中心に据え②「マイナンバーカード」の普及促進を図りながら③市民中心の先進的な活用方法のプロジェクトを実行し④他地方都市の手本となる施策を展開し⑤それを支えるデジタル産業を育成し⑥次世代放射光施設から産み出される新技術を徹底的に活用し⑦市民が参加した「My Data」のガバナンス体制を確立することを到達目標として「TOHOKU未来プロジェクト」「都心創生プロジェクト」に記述すべきと考える。	パブコメ
159	地産地消や地場商品、食品の消費をすすめたい。安い外国産の食品に押されているように感じる。	イベント
③実施の方向性03 仙台・東北に世界中から人を呼び込む（15件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
160	インバウンド解禁した暁には、ソイスープ（味噌汁）や味噌焼きおにぎりの源でもある伊達政宗の仙台味噌造り方法・笹かまぼこ造りの製法、ずんだ餅の作り方等のカルチャー教室を作り、日本人の長生きの要因となっている発酵食品の体験学習として、秋保温泉につながる場所やまちの中の買い物や飲食のできる近くに教室の併設を考えてみるのも良い。	パブコメ
161	多くの外国人や多国籍の方々の往来が激しく行き来し活気に満ち溢れたまちづくりになると確信している。それらをバックにツアーを組み、映像・写真を抱き合わせた旅行案内の強化を世界に発信することが得策。	パブコメ
162	東京圏からの移住促進や、東京圏と仙台市の2拠点居住促進に関する記述を盛り込んではいかがか。	パブコメ
163	日本の主幹都市からのアクセス、気候や風土などのメリットを利用し、企業の誘致や誘客を進めて欲しい。技術系として働いているが、仙台市内になかなか活躍の場を見い出せない。優れた企業や技術者、消費者の誘致が最終的な「都市の繁栄」につながると思う。	イベント
164	国際化への流れとして、「Japan Times」「New York Times」へのまち情報を可能な限り行ってはどうか。	イベント
165	仙台ハーフマラソンやジャズフェス、青葉まつり、せんくら等のイベントは、仙台らしさを大に感じる事ができて大好きである。	イベント
166	長期的な視点に立ってブランディングしていかなければ、魅力のある土地にはならない。緑やおいしい食材は他県でもあるので。	イベント
167	「#スケート都市仙台構想」は、国際的な知名度を上げるためにも必要。	イベント
168	仙台は観光名所が点在しているが、そこに至るまでの道中が弱いと思う。例えば、ディズニーランドに行くために舞浜駅に降り立った瞬間から、パーク内に入るまでの道中も楽しめる空間になっているような、名所や施設に行くまでの道中にもテーマを持たせて整備して欲しい。	イベント
169	仙台市郊外にある観光資源（秋保・蔵王・水族館など）へのアクセス向上のために、MaaSの実証や民間交通との連携、その他世界に注目されるような取り組みが行われると良いと考える。（「Whim」など）	イベント
170	他県の方の案内で、牛タンや本丸がない青葉城址、仙台市外の松島が浮かぶくらい。魅力ある都市を行政がしっかり取り組んで欲しい。	イベント
171	観光は実に弱い地域だと思う。	イベント
172	他県によるアピール度は非常に強い面があり、外国によれば広告や映像等のストーリーを加えた世界へのアピールが必要となることを望む。	イベント
173	観光としてのループル仙台のガイドパスや仙台城、伊達武将隊の活躍をも引き続き、さらに視野を広げた展開が欲しい。	イベント
174	忘れがちだが、来年の東京オリンピック・パラリンピックの市としての動きはどうなのか。	イベント

(8)都心創生プロジェクトに関するご意見 (15件)

①実施の方向性01 投資を呼び込むまちをつくる (9件)

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
175	次の10年を見据えた施策「旧さくら野百貨店ビルに東北PR施設設立」を考えた。 課題：東北訪問する外国人が少ないこと 解決：旧さくら野百貨店ビルに東北各県への人の流れを生み出す。外国人だけでなく、他地方の日本人もターゲット。	パブコメ
176	最も懸念するのは、「都心創生プロジェクト」である。「施策の一覧」の中に記載はあるが、具体的に、容積率はどう定められ、どんな手法で、どのような規模、用途の建築物が誰の資本で作られるのか。それらが、市民の目に触れないところで着々と準備され、突如、基本計画でオーソライズされた実施計画として提示されることになるのか。仙台は32ページで大都市としての責任を果たすと主張している。一方、仙台の「活力」の源は中枢機能と広域性だと誇っている。仙台市が、都市再生緊急整備地域の巨大開発を「成功」させ、中枢機能と商業機能をさらに集積させるなら、仙台圏以外の市町を荒廃させるのではないかと懸念させる。大都市の責任を果たすというなら、自らの都心開発が、周囲の市町に何をもたらずのか、それを検討できる具体的な中身を示した上で、基本計画の是非を問うべきだ。	パブコメ
177	核となるのはオフィス需要の受け入れであると考え。一方でコロナ禍によりテレワークが進み、オフィス需要は減少する可能性もあると思う。現在見込んでいるオフィス需要より少ない場合の代替案（例：大規模商業施設の誘致の検討等）はあるのか。	説明会
178	市は都市計画や開発が遅れてしまっている。巻き返しの策はあるのか。	説明会
179	老朽建築物の建替えには、行政は具体的にどのようにコミットしていくのか。	説明会
180	仙台駅前、さくら野の跡地が、いま何とか整備されつつあるが、地権者の意見がなかなか統一されず、苦労されてると伺っている。あの場所は仙台市のまさしく顔であると考えたときに、仙台市のさくら野跡地を含めた仙台駅前をどのように再開発していくのか。	説明会
181	市内の建物の建築方法として「CLT（直交集成板）」を使ったビル・マンションに補助金を与えてはどうか。	イベント
182	杜の都をもっと発展させるため、駅前の建物を高層化し、代わりにノックバックして建物の前を植樹あるいは公園にして、まちの緑を増やしていく。	イベント
183	仙台市の老朽化施設のリノベーションに期待している。生まれも育ちも仙台だが、緑が多く、栄えている仙台駅周辺がとてもキレイなところも好きである。閉店したままのお店やボロボロのままの建物があるともったいないし寂しい気がするので、何か素敵な楽しい場所として活用できたら、もっと自慢できる仙台になると思う。	イベント

②実施の方向性02 イノベーションが生まれる都心をつくる (1件)

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
184	仙台市の基本計画なので、大きな問題とも言えないが、チャレンジするにあたってのビジネス性が足りないように見えた。TOHOKU_UNIVERSITY_VISION2030。重点戦略⑩_東北大学発ベンチャーとのリンク。うまく運べれば『2020年までに世界で最もGreenest Cityを目指すというバンクーバー』を超える仙台市になるかもしれない。	イベント

③実施の方向性03 まちの回遊性を向上する (5件)

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
185	移転と言われている宮城県美術館を仙台市で買い取るべき。今時、音楽ホールや美術館は、県内市内に複数あるのは珍しいことではない。	パブコメ
186	東北や仙台の企業や商店が、他地域や海外の大型資本に負けることのないよう、企業同士でイノベーションを生み出し、研鑽しあえる仕組みや、人の流れが大型商業施設だけに集中しないようにするために回遊性が高く、より快適に過ごせる都心づくりが必要。近年は地元の企業が倒産、より大きな企業に吸収合併されるような事態が相次いでいるが、地元根付く企業が主となって経済活動を行ってこそ、地域の力の源になるのではないか。	パブコメ
187	青葉通りを広場化し、中心部への車両を規制して公共交通利用者の増加を目指して欲しい。仙台セントラルパークの早期実現を。	説明会
188	仙台駅前の活性化を。	説明会

189	若者や女性、酒を飲まない方も楽しめる国分町があれば良い。昼にもできることは少ない。城下町と市内エリアとしてもっと良いコンテンツやPRができれば。	イベント
(9)その他チャレンジプロジェクトに関するご意見 (23件)		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
190	中間案の内容で、8つのプロジェクトが縦割りになっているように感じた。多様なライフスタイルを考えた場合に、健常者と障がい者、各年代において、一緒に平行して具体案を検討していく必要もあると思う。互いに理解し合い、交流を深めて、バランスを検討していくこと（チーム）も必要だと思う。各年齢層や障がい者、各区などの交流機会をつくるのがとても重要なことではないか。	パブコメ
191	そこそこ生活できる仙台市は、県外、東京、海外という意識が低いと思う。子どもも大人も外国人などと交流できる機会を増やして欲しい。 また、仙台は震災も、大規模小規模合わせ「まつり」という宝があったからこそ乗り越えてきた。上から言われると動かないが、市民にはまつりの熱がある。他県や海外との交流にも活かしていきたい。	パブコメ
192	SDGsとプロジェクトの関係性について、SDGsの17の目標・169ターゲットを理解した上での記載と、「17の目標」と大まかに紐付けているだけの記載が混在しているように見える。例えば「②防災環境都市プロジェクト」に「5.ジェンダー平等を実現しよう」が入っているのは、前者の印象を受ける。その一方で、例えば「⑦TOHOKU未来プロジェクト」には「5.ジェンダー平等を実現しよう」のマークが記載されていないが、「起業家」は男性のアイコンではないだろう。SDGsに準拠するなら、表面的でなく、より深い結びつきを意識して記載をして欲しい。	パブコメ
193	IT技術をどうまちづくりに生かすのか。積極的に活用すべき。	説明会
194	国際化や国際性については、どのように取り組むのか。	説明会
195	若者が魅力を感じる施策はあるのか。	説明会
196	西部地区の開発をお願いしたい。特に作並温泉の活性化をして欲しい。	説明会
197	学力向上による新産業の創成をすべき。	説明会
198	SDGsへの取り組みが記載されているのも評価できる。	説明会
199	大学と産業と行政と一体化する方向性を大切にしたい。チームを組んで。	説明会
200	「人口減少対策」に対するマクロ（東北的）、ミクロ（仙台市）のきちんとした方向性やイメージが描かれていない点が不足に感じた。（多分に全国的に取り上げられている点かと）	説明会
201	泉ヶ岳のリゾートなどの活用を。	説明会
202	チャレンジプロジェクトが8つもあって、多すぎてやや消化不良の感じがする。	説明会
203	「目指す都市の姿」と「チャレンジプロジェクト」の内容について、関連を明確にした方がわかりやすいと思う。例えば、目指す都市の姿の「自然」は、どのチャレンジプロジェクトに関連するのか説明が必要である。	説明会
204	チャレンジプロジェクトの項目の基本的方向性は、一人一人の市民が安心して暮らせるまちということだと思う。雇用の安定も含め、しっかり取り組んで欲しい。	説明会
205	「東北大学」のブランドを活用すべき。	説明会
206	若者や子育て世代の声を汲み取る努力を引き続きお願いしたい（住みやすさ・暮らしやすさの観点は大）事）。	説明会
207	杜の都を目指すのであれば、自然豊かな市を構築するための産業を起業する企業の支援や誘致、若い人の労働力を確保する。また、電力・ガス・水道等の改革により、新しいクリーン生活ができるよう支援する等の明るい未来を構築して欲しい。	説明会
208	都心への投資に傾斜するのではなく、地域分散型のまちづくりを。	説明会
209	この10年間で、仙台市として、何を最優先に進めて行くのか。	説明会
210	8つのチャレンジプロジェクトについて方向性は良いと思う。具体性に欠けると感じていたが、これからみんなで創り上げるものという点で理解した。一方、そういう内容にしては意見交換の機会が少ないように思う。これからその点は期待したい。	イベント
211	町内会や学校とのつながりが弱い。地域住民や子どもたちをもっと巻き込んでいく方法を考えたい。	イベント
212	仙台市をより良くしたいという想いはそれぞれあるにしても、一個人として、もしくは企業人としての立場で考えるかどうかによって捉え方が変わってくるように感じた。いずれにしても、8つのチャレンジプロジェクトすべてが良い計画だと思ったので、機会があれば自分も参加しながら達成したいと思った。	イベント
4地域づくりの方向性 (0件)		

5 未来をつくる市政運営（153件）

(1) 市政運営の基本姿勢（37件）

① 持続可能な都市経営の基盤を構築する（10件）

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
213	開示可能な行政文書や公文書の適切な保管と公開を。	パブコメ
214	これからの時代において、市は「何をするのか」だけでなく、「何をやめるのか」ということも考え、決めていかなければならないと推測する。前向きな話だけでなく、縮小する時代に適応するためのビジョンも打ち出して欲しい。 また、「何をやめるのか」を決めるには、社会課題・地域課題に対して優先順位を付けなければならない。これは果たして市だけで行うべきなのか、という点も議論が必要である。縮小する時代に対応するためのビジョンと併せて、縮小する時代の市（公共）のあり方も検討して欲しい。	パブコメ
215	今後の人口減少を見込んだものであると評価している。予算は減少していくので、施策を民間の資金でやるような意気込みで、民間投資を他分野に取り入れられるようにしてはどうか。また、人員と資金を民間から持って来れるように加えてはどうか。	説明会
216	「自助・共助・公助」は逆だと思っている。自助ができるなら政治も行政も不要なのでは。	説明会
217	受益と負担の関係はしっかり認識してもらいべき。	説明会
218	経済合理性に流されない検討をお願いしたい。	説明会
219	ガス事業の民間への売却は、価格について多数の人が疑問を持っている。ガス民営化は一旦凍結して市民合意を問い直して欲しい。	説明会
220	コロナ禍で税込減や経済の落ち込みの中、この計画が計画倒れになってしまうのではないかと心配している。	説明会
221	今回、地域チケットがついた3割増商品券が、とても盛況だった。地域の事業者の方々と協力体制を活用し、ガバメントクラウドファンドをしていただいて、ふるさと納税と同じような税金対策でいろんな協力を得られるのではないかと考える。	説明会
222	ガス民営化について。中間案58ページにはインフラの整備としてガス管にのみ言及があるが、ガス民営化については記載がない。ガス局を民営化するということは、港工場。青葉区のガスサロン、宮城野区の土地等の仙台市の不動産を売り渡すことになる。どれくらいの土地価格を持っているのか、それに応じて本当に売価が正しいのか。これらも含め、ライフラインは公的に管理すべきではないか。 新聞報道では、400億円で、全部を売り渡したいという意向が仙台市から出されているとあったが、土地の不動産価格が実質どれくらいであるかも一緒に教えて欲しい。	説明会
② 協働によるまちづくりを加速させる（9件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
223	本基本計画のあらゆる部門で協働の追求が前提、目的であるかのような内容になっており、本計画が行政計画でなく、協働計画（意味不明の）であるかのような印象を受ける。特にこの「未来をつくる市政運営」のなかで「（2）協働によるまちづくりを加速させる」としているが、前記の様な自助・共助の推進ということなのだろうか。この（2）の冒頭の「地域ニーズにきめ細かに対応するためには」、コミュニティ分権を強力に推進するために区の権限の大幅な拡大と、自治基本条例（制定）に裏付けられた小学校又は中学校区単位の権限を有する協議組織を立ち上げていくことが不可欠だ。行政の下請化に直結している指定管理者制度や公共サービスの市場化を推進する公民連携は、住民自治の阻害要因ともなる。	パブコメ
224	地域に根付いた、まちづくりの市職人プロの指導を求めたい。泉区西部地区は50年なんの変化もない、反対に農業を守るため、農村振興法指定が農村地域の人口の増加ができず、実沢小学校のように廃校の危機に瀕している。結果、子供たちが犠牲になってきている。（現在5名の児童タクシーで根白石小学校に通学）真剣に地域の発展を考えてくれる人はいなかった結果と思われる。	パブコメ

225	<p>仙台市では、「仙台市市民公益活動の促進に関する条例」を制定した平成11年に「市民協働元年」を宣言し、これまで市民協働を展開してきた。市民協働を、地域の活力の創出の柱にとどまらず、市政運営や都市経営の基盤に位置付けていたのがこれまでの仙台市だと認識している。また、地域課題・社会課題が多様化・複雑化してきている今日において、行政や企業、地域が“単独”では課題に対応することが難しくなっている。市民協働や市民力は、これからの時代において更に重要になると考える。</p> <p>一方で、基本計画中間案を拝見すると、「市民協働」「市民力」という言葉が見当たらない。市民目線での問題提起・課題解決を積み重ねてきたこれまでの市政運営や、「市民協働」「市民力」によりスポットを当てている現在の基本計画と、中間案との間には大きなギャップを感じるが、これは市が方針を転換したということか。</p>	パブコメ
226	<p>今後の市政運営において、市民一人一人の発意に対してはどのように受け止めようと考えているのか。市民の発意や市民の課題認識を行政が受け止め、または拾い上げ、市民・行政と一緒に考え行動する、ということがこれまでの仙台の都市個性を形成してきたと思うが、その点が薄まっている印象を受ける。</p>	パブコメ
227	<p>「市民協働」が薄い。協働という言葉あるが、市民協働がないのはなぜか。仙台市の政策の根っこではなかったのか。昔の市長が平成11年を「市民協働元年」と呼び、先進的な施策を打ち出してきたと聞いていたが、それはどこにあるのか。横浜市は新しい庁舎の1階に「市民協働推進センター」を置いた。各区に市民活動支援センターを設置して、市民の活動を応援し、その力を束ねて市民協働の推進力にしている。見習うべきではないか。</p>	パブコメ
228	<p>自治会とNPOをまとめて同じような「市民活動」扱いしているが、役割も違うし、支援策も異なるのではないかと。横浜市には自治会のための「地域の絆をはぐくむ条例」が市民協働条例とは別にある。「地域協働プロジェクト」は、そこが混同しているようだ。</p>	パブコメ
229	<p>大都市における住民自治、コミュニティ分権・自治を徹底するためには、これまでの協働のあり方（特に議会の責任・役割が明確にされていない）を抜本的にあらため、自治基本条例に基づく、①市民及び②市議会（二元代表制の一翼になっていない）、③市長の協働に転換すべきである。</p>	パブコメ
230	<p>財政の裏付けはどうか。区には財源がない中で、どう実施するのか。</p>	説明会
231	<p>地域の間が1番その地域を知っているという意見があったが、全くその通りだと思う。アンケートや各分野・ステージの人達にリアルなニーズや課題、提案などを伺う（話を聞く）チャンスを作っていくことが、市民協働の一步だと思っている。</p>	説明会
③社会の変化にしなやかに対応する組織をつくる（4件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
232	<p>行政システムの改革では、「高齢者」「生活困窮者」「母子家庭」などのカテゴリー別に施策対象を一括し、カテゴリー集団に対して施策を打つ旧来のあり方を打破し、個人の個別の事情に対応したきめ細かな支援が可能なシステムを築く。旧来のシステムに縛られていれば、申請主義を克服できず「誰一人取り残さない」は言葉だけのものになる。多様化する個々の事情に対応するには、一次生活圏レベルで、縦割りを廃した地域別総合行政の実現が不可欠である。市は直ちにその制度設計作業を開始する。</p>	パブコメ
233	<p>総合行政本部として、各組織の頭脳を統合・集約し主な行政を司る。職員を組織的に教育。業績を適正に評価する組織を設ける。</p>	パブコメ
234	<p>今回の基本計画の推進するプロジェクト体制を構築する必要があると考える。縦割だけではないプロジェクトリーダーのような組織を確立して欲しい。</p>	説明会
235	<p>基本計画の推進役となる仙台市の職員がまず計画を全体的に理解し、自分の仕事と結びつけながら、仕事に励むことが一番大事ではないか。</p>	説明会
④デジタル化により豊かな市民生活を実現させる（10件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
236	<p>コロナ禍の中、政府はデジタル化により大きな変革を興す政策を進行中だが、このことも今後計画に反映されるものと思う。</p>	パブコメ
237	<p>計画期間の2030年を見据えると、デジタル化した社会は当たり前になっているものと考え。計画には多くのデジタル化に関わる文言が記述されているが、デジタル化によっておこる社会変革（地域DX（デジタルトランスフォーメーション）については全く記述がない。ぜひ、「地域DX（デジタルトランスフォーメーション）」という表現を入れることを提言する。</p>	パブコメ

238	「マイナンバー／マイナンバーカード」は、市民生活、行政改革、新ビジネス創造等、基本計画すべてに渡るキーワードである。このキーワードなくして基本計画はありえない。必ず基本計画書に記述し、市民、企業そして行政の方々に啓発できる表記を提言する。	パブコメ
239	「マイナンバー」は、決して行政効率化のためだけの番号ではない。私達市民自身が「My Data」の一つとして捉え、このデータを自らの生活のために活用する時代である。そして「My Data」は市民生活に密接に関係する新技術、新サービスを創造する最大の要素である。世界の巨大ICT企業が成長した最大の要因は、個人データの活用にあった。これからは（暗号化や仮名化・匿名化など）適切なプライバシー保護を行った上で「本人の承諾（停止を含む）」と「最小開示」の原則に基づいた個人のデータ「My Data」活用新ビジネス創造の視点を「07 TOHOKU未来プロジェクト」として記述することを提言する。	パブコメ
240	シリコンバレーは80年代後半、日本の半導体産業に席卷され衰退の一途を辿ったが、そこから復活した背景に市民の行動があったとのこと。NPOが電子コミュニティの実験都市として市民と企業・行政が協働する仕組みを作り上げ、その環境の中、現在のインターネット企業が誕生した。仙台市にはその土壌がある。多くのNPOが活躍している。「マイナンバーはMy Dataである」を徹底し市民全員参加の「仙台市丸ごとデジタル技術実験都市」を目指し、「産官学 金市民」でイノベーションを興しましょう。『仙台でワクワク』しませんか。	パブコメ
241	法改正も含めたICT活用をもっと進めるべき。	説明会
242	デジタル活用について消極的な印象がある。社会の大きなトレンドについての認識・分析が薄い印象。	説明会
243	行政のICTは相当に進めておかないと、対応ができない。ただ、仙台市を見ると、ICTに対する取り組みが非常に遅れてると感じる。トップの方々が意識して、担当の方々に発信し、役所が変わるといようにして欲しい。 また、ICTやコンピューターに慣れないシニアに対するキャンペーンや支援を続けてやって欲しい。	説明会
244	すべての計画に個人データ（マイナンバー）が関係する。スーパーシティ計画とリンクして国を動かして欲しい。規制を壊そう。仙台市を実験都市にしよう。マイナンバーを使って新ビジネス創造を。まずは行政イノベーションを起こそう。そんな市になって欲しい。10年後は「デジタル仙台」を目指そう。	イベント
245	マイナンバーで窓口の効率化も進めて欲しい。	イベント
⑤大都市としての責任を果たす（4件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
246	「大都市としてのスケールメリットを発揮」と言い切っているが、一方のデメリット、顕在化するリスクについてふれないのは、全くの片手落ちである。 東日本大震災であれだけの犠牲者が出た最大の理由は、大都市化の原動力となった産業・都市開発にある。例えば1960年代から本格化した新産業都市・仙台港建設（堀込港湾）開発が宮城野区蒲生北部の被災の拡大要因となり、300名の死者のうち半数が事業所関係者であると言われている。また、若林区荒浜の新市街地の場合も同様（新住民）である。	パブコメ
247	宮城県と仙台市は、若者の首都圏流出や子育て支援をはじめとして、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や大規模・多様化する自然災害への対応、東北全体の発展にも貢献する経済の安定的成長など、共に取り組むべき様々な課題があるものと考えている。共に同じ方向性にある新たな総合計画を策定するものと思うので、引き続き、連携しながら取組を推進していければと考えている。	パブコメ
248	国・県等との縦割り繋がりで思考停止気味の弊害を以前から発信してきた。まずできないことを強調し、前例踏襲・無難を旨とし、若い職員のやる気を削ぎ、組織を沈滞化させ、積極的な創造性は感じられない。縦割りの細分化で結果対応に終始し、総合行政に乏しく、職員の教育諸組織・業績を適正に評価する組織もなく、活性化に乏しく、今後の困難を極める持続可能な縮小社会構築のためには、総合行政に改革することが先決。	パブコメ

249	<p>「(4)大都市としての責任を果たす」は、国の地方創生の動きに親和的な表現になっており問題である。これまで仙台への人、モノ、カネの集積は、東北からの人口流出のダム効果になると言われていたが最早通用しない。仙台市への集積促進は、県内外エリアとの連携、共生どころか同エリアの更なる疲弊に直結し、仙台市経済へのマイナス効果ともなる。</p> <p>特に都心部における規制緩和と機能集積誘導（再投資誘導は、地価をつり上げる一方で、頑張っている地元企業を駆逐し、歴史的に積上げてきた多様性も壊滅する。</p> <p>「(4)大都市としての責任を果たす」というような根拠（法的にも）もどこにも示されていない（(4)の内容は、指定都市市長会提案の『特別自治市』の問題とも重なる点がある）。周知の様に政令指定都市自体が制度的にも不明確だ。いずれにしても、中央政府や大資本によるコントロール下の拠点型・拡大型ではない、市民一人ひとりの尊厳が大切にされ、いきいきと生活できるローカリズム（循環性と自律性）あふれる、地方自治の本旨を希求する都市運営こそが求められている。</p>	パブコメ
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------

(2)都市構造形成の方針（28件）

①基本的考え方（0件）

②自然と調和した都市構造の形成（18件）

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
250	貨物引き込み線に旅客線も走れるよう鉄道を循環化させる。	パブコメ
251	P39に記載の土地利用方針図（案）によれば、愛子周辺地域までは市街化区域とし、それ以西は従来通り市街地調整区域として開発を抑制することのようだが、実態と合わないため早急に見直し、国道48号線沿いにJR仙山線白沢駅までを市街化区域とすることを要望する。	パブコメ
252	<p>P39に記載の土地利用方針図（案）によれば、この工業ゾーンは形状から見て、みやぎ広瀬総合運動場区域と推定されるが、ここに工業ゾーンを造成し、総合運動場を宮城総合支所周辺に計画されている土地区画整理事業区域に移転する計画だとすれば、以下の理由で反対する。</p> <p>①宮城総合支所庁舎とともに旧宮城町の二大モニュメントであり、聖域である。</p> <p>②地元住民が運動会を開くなどのようなコミュニティの場や、スポーツ公園として定着しており、移転の大義名分がない。</p> <p>③他の地域に移転するには地元住民の同意が必要</p> <p>④このようなスポーツ公園は、これよに西には存在しない</p>	パブコメ
253	市は、農地をソーラー化し、それにより農家の所得を増やし、里山の風景を激変させ、緑の環境を守っている施策を現在今行っている。それが今後も続くのかと疑問視している。数件の成功例をあげて満足をし、90%以上の農家を見捨てている現状を見て欲しい。	パブコメ
254	仙台西部地区の緑豊かな自然環境と、水資源は都市の温暖化防止や、水害対策にとってはとても大事なところである。しかし、緑の木々を大事に資源に活用し、再び植林を行い、山を守り続けるのは、人の手で行われている。七北田川の福岡浄水場は水道料として70億円以上の収益をあげている。大倉ダムなどの水源の森を守るのは地元の農家の人々、これらの地区の人々に対し、理解と感謝の念が市民に理解されていないので、里山を含めて、ほとんどリスpekトがない状況に疑問である。	パブコメ
255	奥山と里山のイラスト表現に重大な表現の違いがある。里山にカモシカしかなくて、人の住む農家の集落の景色がなく、見る人に誤解を招くイラストなので直して欲しい。	パブコメ
256	写真は子供たちが森林を保全しているかのような写真はありえない。保全に努めているのは地元の住民たち。誤解のないようお願いしたい。このような表現に気が付かないのはやはり、この地域を重要視していないことがわかる。	パブコメ
257	奥山・里山は市街地（都市部以外）よりもっと水害の軽減や水質浄化・水源の涵養に寄与している。その理念を貢献と表現してもいいのではないか。田園・海岸にも貢献と記入しており、西部地区の山々の緑には、何の貢献もないのか。	パブコメ
258	仙台西部地区（秋保・愛子・根白石）は里山の拠点である、地域の集落のよりどころとしての機能を持たせ、地域の活性化の拠点とする地域はより住民とのコミュニケーションエリアとして機能と役割を担うエリアとしての活用を図る。仙台の第2の流通基地の役割を持たせる地域として、農村保全地区の部分的な見直しを行い、地域の集落の維持を活性化を図る地域とする。もう農業だけでは生きていけない地域でもあり、市民農園に特化した地域の指定を行い、農業と市民の交流地域をクラインガルテンなどの仙台発の市民農園地帯になるのもマネージメントできる地域である。	パブコメ

259	過去の農業に対する基本政策に鑑みても、農業の衰退は激しく、このままでは再生不可能の状態になるのは目に見えている。市政独自で農業の発展のプログラムの始動を始めなければならないと思う。もうマネジメントしなければ里山の農業は10年で崩壊し、農地はソーラー畑だらけとなる。農家の人々は農業をあきらめソーラーに頼るしか生活の手段がなくなっている。ソフトの活用しかない。	パブコメ
260	グリーンレストに関して、都心周辺の緑が失われつつあることに対策を講じて欲しい。かつて緑豊かだった台原は道路建設や宅地開発で森が削られ、名木一本杉も失われた。残された緑も、マンション敷地や空き家に残された古木が次から次へと切り倒されている状況にある。	パブコメ
261	地下鉄南北・東西線、環状線網等の整備により、仙台市の骨格はできており、自然との生を重視した人口減少に応じた持続可能な拠点コンパクトに再構築。	パブコメ
262	人口80万人基準の拠点コンパクト化（縮小は困難を極めるが拡大は容易）	パブコメ
263	各種都市機能の集積についても人口減少により維持コストの問題が表面化し、機能集約という新たな都市開発で乗り切ろうとしている。それはさらなる利便性の低下と空洞化、地域格差の拡大となり、コミュニティの持続可能性の否定に繋がる。 改めて本計画の柱である「地域協働プロジェクト」が重要であるが、これまでの旧泉市や旧秋保町の合併や、行革による相次ぐ支所の廃止とは全く矛盾するものであり、これらの歴史的な経過の評価・検証と合わせての取り組みが求められる。	パブコメ
264	グランドデザインを描くのは良いと思った。	説明会
265	都心まちづくりの方向性の地図について、仙台市の平地の真ん中にあるのは楽天命パークであり、未だに仙台駅周辺が中心地とされているのはおかしいのではないかと。	説明会
266	既存の宅地には空き地が増えてきていることなどを踏まえれば、これ以上肥沃地を破壊して商業施設をつくることなど全く不要。何百年もかけてつくられ営まれてきた農地を一瞬にして破壊するのではなく、既存の基礎地を有効に利用する方策に力を入れるべきであるため、「周辺環境と調和しない」という条件をなくして、そもそも土地利用の転換を抑制するという方針にしてもらいたい。	説明会
267	都心部の方にばかり目が向いてしまって、素晴らしい里山のある中山間部に目が向いていない。都心部と中山間部の調和の取れた市政運営をぜひお願いしたい。	説明会

③公共交通を中心とした交通体系の構築（10件）

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
268	高齢化が進み、経営が厳しく仙台駅西口に集約している現行のバス路線を見直して、JR原町駅周辺からのバス路線（旭ヶ丘・燕沢方面・薬師堂～河原町方面・卸町・うみの杜の水族館・高砂方面等）への路線の構築やトラムなどの新交通システムの導入などで原町駅周辺の活性化整備を要望する。	パブコメ
269	バス運転手の高齢化や担い手不足から公共交通を中心とした交通体系は、限界があると思う。実際に要望してもバスの増便に応じてくれない。	パブコメ
270	鉄道とバスの結節強化だけでなくバスとバスの乗り継ぎ拠点強化（中心部入口付近に設置）を図っていただきたい。	パブコメ
271	自動運転時代を迎えるにあたって道路空間を再編したり、また、自動運転対応用の専用レーンを設けるなど道路整備を強化して欲しい。	パブコメ
272	高速道路や新幹線開業とともに物流システムが充実化され、人の流れとともに経済の活性化につながるように、交通手段が重要課題なのでは。	パブコメ
273	①仙台西部地区 外環状線構想：10年後はより以上の市街地への車両の進入の増加が見込まれる。現在でも通行量が多いためである。このことに鑑みて、根白石地区から市街地の計画的な都市道路の拡張が必要になると確信している。②仙台西部 観光道路構想：定義から根白石までの観光道路の整備の必要性については、国道45号線の渋滞緩和対策の重要性、3地区を直接つなぐ路線と観光による発展を目指す。③みやぎふるさと緑の道整備構想	パブコメ
274	公共交通体系の構築については、10年の枠に限らず、鉄道駅広場構想をより具体的に詰めて抜本的に見直して欲しい。	説明会
275	フィーダーバスの強化ということでバスのイメージ図があるが、現実味がなくて、絵空事にしか感じない。東西線が開通したとき、多くのバス利用者が切り捨てられた。今、高齢の方や障害のある方は、タクシーを利用し、外にでかけるのも、とどまっているような状態で、皆さんもう外に出られない。目の前にバス停があれば皆さん思っているが、このフィーダーバスというのが現実的なことなのか、非常に疑問。	説明会
276	平成7年だったかに、茂庭台に地下鉄が通るということを聞いて、茂庭台に引っ越した。そのあと、地下鉄東西線が開通したが、動物園までだったのもっと延長するという計画などがあるのか伺いたい。	説明会

277	将来的には地下鉄を富谷や吉岡の方まで延ばしたいという要望が、主に富谷市から出ていると思うがどう考えているか。	説明会
(3)施策の体系 (0件)		
(4)施策の一覧 (88件) ※再掲含め延べ89件		
①みどり (3件)		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
278	大きい立派な公園より、小さな公園を大切にしたい。(地域・町内会で集える広場を)	説明会
279	仙台の「杜の都」は、政宗公は侍屋敷に木を植えさせたことがはじまりである。今、仙台で新築の家を見ると家の周りはコンクリートで固め、木は全くないか少々ある程度。個人が家に木を植えるための助成や仕組みが欲しい。	説明会
280	青葉区はもう土地が詰まっているため、宮城野区の仙台港や後背地の有効な活用について計画を練って欲しい。	説明会
②環境 (1件)		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
281	十数年前、ドイツの環境都市で有名なフライブルグに4週間ほど住んでいたが、仙台市はフライブルグよりもきれいな街であると感じた。吸殻のポイ捨てや紙。ゴミの放置を少なくしていきたいと思うが、大切なことは市民一人ひとりの心のあり方、マナーをグレードアップしていくことだと思う。一つ一つのいろいろな角度からの市民力のアップに力を入れたい。	説明会
③防災・減災 (4件)		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
282	現在の指定避難所に避難が原則。避難所・経路の水没が顕在化しており、二階等近場の緊急避難と引水後の長期避難の明確化と現場指導等で町内会を積極的に活用する。	パブコメ
283	温暖化により雨水内外氾濫で大浸水が頻発し、住めなくなる。住宅を拠点的に集約し、高床(駐車場付)の中高層集合住宅・高床の二階以上を多用。	パブコメ
284	避難所の評価をしっかりとしたい。個々の避難所には課題があるはず。小学校・中学校だからではなく、本当に使えるのかチェックを。	説明会
285	新しいことも大切だが、現状の確認を10年かけてやってみてはどうかと思う。私道やインフラ(水道・下水・ガス等)の維持をどうするのか。所有者の確認をしないと10年後どうなるか心配になる。	イベント
④人権 (10件)		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
286	今年は特に新型コロナウイルスにより、普段隠れていた問題が表面化していることを実感している。 提案の一つとして、家庭内DVについてこういった行為が暴力にあたるかの出前講座等を町内会単位で行って欲しい。ドメスティックバイオレンスは個々人の問題ではなく「人権と多様性、地域生活」に関わる問題と捉えることもできる。なぜ、町内会かというと、町内会活動は中心執行部役員として活動を担っている多くが、しっかりと社会に関わっている人当たりの良い人格者が選ばれているからである。町内会という組織は、町内の様々な事案を把握しているようなので、「人権と多様性、地域生活」の学びを行う場に適していると考えた。	パブコメ
287	本市において学びや市民協働、交流の場としての公的施設の重要性は増しています。中間には市民サポートセンターや市民センターについては明記されていますが、男女平等のまちを目指す拠点施設である「エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台」の男女共同参画推進センターは明記されていません。本市の重要な施設であるこれら施設を明確化し、さらなる男女平等の推進を図ることが重要である。	パブコメ
288	男女共同参画推進センター(エル・パーク仙台、エル・ソーラ仙台)の設置意義や果たすべき役割について明記されていないのは良くないと思う。	パブコメ

289	<p>男女共同参画推進センターのエル・パーク仙台とエル・ソーラ仙台についての記述がないのはなぜか。両施設は利用率も極めて高く、ソフトも非常に充実しており、仙台市、宮城県さらに東北全体の男女共同参画を牽引してきた。</p> <p>特に災害時にはジェンダー問題が深刻化するので、東日本大震災の時にはいち早く被災女性の救済・支援に取り組み成果を上げた実績もある。その経験を活かし、仙台での国連防災会議における「仙台防災枠組み」策定に両施設も尽力した。</p> <p>これからさらに高齢化が進むので男性への差別の問題が顕在化するようになる。こうした課題にも取り組んでいるエル・パーク仙台とエル・ソーラ仙台は、全ての市民のために重要な施設である。新しい「基本計画」には、ぜひとも同センターのさらなる充実・発展を盛り込んで欲しい。</p>	パブコメ
290	<p>仙台市では市民後見人を養成していることはわかっていると思う。この活動は仙台家庭裁判所より高い評価もある市民協働事業として素晴らしい事例である。成年後見制度という一般用語に加え「仙台市市民後見人」を加筆することを提言する。広く市民に広報するまたとない機会になる。</p>	パブコメ
291	<p>「4人権」「5地域生活」のところで、女性についての記載が全くない。女性に関する課題を学び、討論できるのが一番の良いところ、また、情勢に関する書籍があるエル・ソーラ仙台は静かに学べる場所です。書籍がもっとあればなお良い。エル・パーク仙台では、その時々課題や問題を取り扱い、学ぶ場としても、討論する場としても欠かせない存在である。人口減の将来を見据え女性の課題にしっかり取り組むために欠かせない施設である。計画案に入れて欲しい。女性労働が差別の温床になっていることについては、しっかり討論・検討して未来の仙台市が誰もが安心して生きられるまちになるよう努力すべき。</p>	パブコメ
292	<p>女性や子どもの人権に関する啓発活動を。</p>	パブコメ
293	<p>男女共同参画推進センターは、男女共同参画を推進し、男女平等のまちの実現に資するとともに、市民に文化活動の場を提供し、市民の生活文化の向上に寄与することを目的として設置されているものであり、基本計画の推進に資する重要な公的施設であると考えます。</p>	パブコメ
294	<p>男女共同参画推進センターは、男女共同参画を推進し、男女平等のまちの実現に資するとともに、市民に文化活動の場を提供し、市民の生活文化の向上に寄与することを目的として設置されているものであり、基本計画の推進に資する重要な公的施設であると考えます。</p>	パブコメ
295	<p>施策一覧P51【男女共同参画】P69【女性活躍】については、女性が頑張るのではなく、男性の意識改革が必要。女性は十分に頑張っているのに、「もっと頑張れ!」と書いてある。</p>	説明会
⑤地域生活（13件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
296	<p>高齢化している町内会の再生を。</p>	パブコメ
297	<p>町内会再生への人的支援が必要である。</p>	パブコメ
298	<p>中間案では、市民の主体的な活動と連携を前面に押し出すというのが特徴である。市は、それまで行っていた災害公営住宅に居住する要支援者に対する支援員の戸別訪問をやめ、町内会や自治会に委ねた。役員のなり手を見つけることさえままならず、脱会者が相次いで解体の危機に直面している自治会・町内会も少なくない中、「協働」の要として過重負担を強いられるのが民生委員・児童委員である。仙台市で活動する民生委員・児童委員の一人当たり担当世帯数はおおよそ300世帯。自ら見守り訪問や住民からの相談対応を行うほか、自治体、社協、学校、自治会・町内会らをつなぐ役割を無給で果たさなくてはならない。これで本当に地域は回るのか。この課題に対応するであろう「心の伴走プロジェクト」や「地域協働プロジェクト」「笑顔咲く子供プロジェクト」の記述を見ると、全く具体性がない。市政運営の「4 施策の一覧」にある対応箇所を見るとやや具体的だが、数値目標や達成時期はない。すべてを実施計画に委ねるつもりのようなのだ。</p>	パブコメ
299	<p>少子化、高齢化の進行は地域コミュニティの維持を著しく困難にしている。震災復興においても気仙沼市や南三陸町が災害公営住宅に常駐の支援員（LSA）を配置して成果を上げてきたことなどに学び、人間の暮らしと生業についての専門的知識を備え、ファシリテータの能力を持った「コミュニティ支援員」を育て配置する制度を実現する。コミュニティの活性化は、福祉、とりわけ要支援者の見守り支援において決定的である。保健師、民生委員・児童委員、包括支援センター、社会福祉協議会、自治会・町内会がコミュニティの現場で連携できるように、情報共有と相互連携の実現に市はリーダーシップを発揮する。「コミュニティ支援員」制度はその要になりうると考える。</p>	パブコメ
300	<p>町内会などでの地域活動が増えるよう工夫を（家庭ごみ指定袋の配布など）。</p>	パブコメ
301	<p>民生委員等の制度周知や育成を。</p>	パブコメ

302	集会所等に事務所を設け、主に市役所OB配置、必要に応じ栄養士を増員配置して地域の防災と適正な摂取等を指導強化。町内会の地域サービスの拠点化。	パブコメ
303	町内会との関わりなくして実現できないのでは。	説明会
304	地域活動が低下している中身を分析し対応策を策定して欲しい。区役所の下請業務では困る。	説明会
305	孤立させない方策の具体化が必要である。特に集いの場となる「集会所」が町内会ごとにあるのか現状を把握の上、町内会ごとに1つの集会所を。	説明会
306	活動を支える人材の問題が大きい。高齢化の中で行政の果たす役割を期待したい。（福祉関連について入り込んでもっときめ細やかに）	説明会
307	学びや健康づくりのためにも、心の伴走プロジェクトの観点からも集会所をぜひ整備して欲しい。	説明会
308	外国の東南アジア系だと思うが、自転車で朝5時から6時の間に多くの人が仙台駅に入っていくのを見かける。どこか近くの工場に行くと思うが、そういう人たちが小田原あたりから自転車通っている。そういった方々の住環境の仙台市としての関わりや労働条件の実態把握などはどうしているのか。	説明会
⑥健康・医療（5件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
309	新型コロナウイルスについての記載は、感染防止対策や新しい生活様式徹底などもっと具体的な方がわかりやすいと思う。	パブコメ
310	保健・衛生の分野では、東日本大震災での在宅被災者問題の深刻化や新型コロナ感染症への対応での混乱を反省し、とりわけ保健所機能の再建・再構築を最優先する。保健所や医療機関の整理統合を進める県に迎合せず、公衆衛生や地域医療をコーディネートする保健所本来の役割を発揮できるようにする。	パブコメ
311	新型コロナウイルス感染症への対応等に関する記述について、10ページのほか、「地域づくりの方向性」や「未来をつくる市政運営」などの関係箇所にも盛り込んではいかがか。	パブコメ
312	現状の対応（ワクチン等）と免疫細胞健全化の食事摂取基準食。食事摂取基準食により、発症が軽減（半減）の可能性を秘めている。	パブコメ
313	高砂地域は、震災で被災しながらも復興団地の建設により被災者の方々が入居し、少しずつ落ち着きを取り戻しているが、精神的な支えがまだ必要だと思う。	説明会
⑦安全・安心（10件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
314	国分町や立町の町内会のゴミポイ捨て問題は、どう町内会に浄化運動をさせるかが課題である。特に国分町は、道路へのポイ捨て（缶・タバコ・チリ紙）、声がけ勧誘、自転車放置の三悪状態である。町内会は死滅しているのか。	パブコメ
315	「取り組み」を「取組」に修正する。	パブコメ
316	【自転車利用】の「安全・安心」を「安全安心」に修正する。	パブコメ
317	主道路の整備も欠かせない。それがまちづくりの原点だと思う。	パブコメ
318	支所周辺で令和7年に完成する大規模な整備計画があるようだが、周辺は狭い道が多く歩道や自転車道もなく、子どもや高齢者にとって危険だと思う。安全安心に利用できる自転車道や歩道の整備計画を示して欲しい。	説明会
319	支所周辺で令和7年に完成する大規模な整備計画があるようだが、周辺は狭い道が多く歩道や自転車道もなく、子どもや高齢者にとって危険だと思う。子どもや高齢者が自転車で移動しやすいことも、SDGsの視点からも必要だと思う。	説明会
320	豊かな田園が住宅街と変わることも市の発展には必要かと思うが、吸水の役割を果たしてきた水田が消えた後の排水設備が十分に機能するよう整備して欲しい。	説明会
321	河川の管理の統一化、一本化。管理と予算も統一化を。県・市・国に分かれていることは互いに逃げの作業になる。	説明会
322	防災に関して、非常に抽象的な言葉がたくさん散りばめられている。災害対策の中でも強調されていたのは、自助、共助ということで、災害にあったときに、どのように避難し、身を命を守るかっていうことは非常に大事だが、行政に期待することは、そういう災害が起きないために、どのような手だてをするかということ。例えば、堤防の強化、補強、それからもっと長期的には洪水が起きないように方針を示して欲しい。	説明会
323	仙台市の住宅街は道幅が狭く電柱も出っ張っているため、裏道として使う車が入ってくると、すれ違うのに時間がかかってますます渋滞して危ない。	イベント
⑧教育（11件）		

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
324	義務教育での少人数学級の取り組みをお願いしたい。クラスの一人ひとりに目が行き届くことで、教員、児童、親と三者が安心できる学びの場となるように願っている。新型コロナウイルス対策にもなると思われる。	パブコメ
325	少人数学級を実現する計画をお願いしたい。	パブコメ
326	教師の数を増やして欲しい。	パブコメ
327	現在、教師は数多くの報告書作成など、書類作成を求められ、それらに時間を多く割かれ、子どもたちに向き合う時間や教材研究・準備の時間が極端に少なくなっていると聞く。このような教育行政を改め、教師が教材研究や授業の準備、そして何よりも子どもたちに向き合い接する時間を多くとれるような教育行政にして欲しい。	パブコメ
328	教育の関係で、子どもを中心とした施策が書いてあった。仙台市は学校で子どもにとって大変残念なことが起きているのでしっかりと検証し、「安心して学べる場」となるように希望する。具体的なことはこれからだと思うが、現場の教育労働者の意見、状況の把握が大事だと思う。	パブコメ
329	確固たる公共サービスを守り、セキュリティーネットの充実で「再分配」を促進する。福祉、医療、教育などの分野、震災復興における被災者の生活再建支援でも、国の制度の網の目から漏れ落ちる人たちを市独自の制度で救済する仕組みを作る。その場合、申請主義に陥ることなく、「災害ケースマネジメント」の経験を踏まえ、行政の縦割りの制約を超えて、社会的弱者にアウトリーチすることを重視する。教員の加重負担を解消し、少人数教育を実現することは、貧困化から子どもたちを守る鍵となる。	パブコメ
330	少人数学級の推進を。	説明会
331	小学校の学級編成について、やはり少人数の学級の方が先生の負担が軽減されるのではないかと。学校の先生が過労死で倒れるような忙しさでは困る。ヨーロッパあたりから比べてみても、日本の教育環境は非常に劣悪な状況があると言われている。	説明会
332	コロナ禍で三密、ソーシャルディスタンスと言われながら、小学生の子どもたちのクラスは、3年生以上は、まだ40人学級ってということで、三密もソーシャルディスタンスもかなっていない。正職員の先生の数をふやして、少人数学級を小学校全部に実現して欲しい。	説明会
333	子どもの教育と学力について。本当の意味での教育の学力の部分ということをもっとこの学都仙台と謳っていく中で非常に弱いと思う。東京などから子どもたちが仙台に来てとしても、学力、それだけのレベルの学校がない。	説明会
334	教員は本当に多忙を極めている。せっかく採用された新卒も体調を崩したり、辞めてしまったり、担任を持ってなくなったりする。子どものためにも教員の多忙の解消を！また、子どもの心に寄り添うことができる教員の採用を。	イベント
⑨子育て（4件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
335	子どもを守る教育委員会は学校任せに。	パブコメ
336	次の10年を見据えた施策「高齢者施設と待機児童のマッチング」を考えた。 想定課題：高齢者の増加・待機児童の増加 解決：待機児童を高齢者施設に預けることで、高齢者の社会貢献の場を広げ、待機児童を減少させる。	パブコメ
337	医療的ケア児や既往症がある子どもたちの、一時預かり先があるといいのではないかと。預け先がなく困っている親への支援をお願いしたい。	パブコメ
338	コミュニティ児童館の配置拡大を要望する。集会も十分にできていない。北六コミュニティ・センターへ。	説明会
⑩学び（9件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
339	伊達政宗を中心とする都市空間作りとして、何としても青葉城を建てるべき。墓や後継者など伊達家の今後が心配なこともあり、震災から仙台市を守ってくれた政宗の心を、職員も市民も分かち合いたい。	パブコメ
340	公的な文書の保存、適正な管理、市民への閲覧公開など情報提供において、公文書はとても重要なものである。現在、貝森小学校の跡施設として2022年の完成を目指している仙台市公文書館は多くの学者、行政関係者はじめ市民からも求められており、生涯学習の拠点施設としても重要である。基本計画の明記を求める。	パブコメ

341	仙台市は、戊辰戦争から仙台空襲で城やまちは破壊された。その一つが「若林城跡 現宮城刑務所」である。明治初期に西南戦争で敗北した薩摩兵を収監する場所として明治政府が買上げ城跡は厳重に保存した上で宮城刑務所として今も利用されている。他県の事例では、行政と市民連携の元、昭和37年山形城、昭和42年駿府城が法務省から移管が実現し、現在は公園として市民に利用されている。仙台市でも市民協働事業として若林城跡地の緑地化を目指す「杜と水の都プロジェクト」の一環として取り上げることを提言する。	パブコメ
342	仙台市が現在整備を目指している公文書館についても、公文書の適正な管理・保存を通じた行政の効果的な執行に加え、公文書の市民への閲覧公開による生涯学習の推進や市民参画の機会の提供に資することを目的とされており、当該施設もまた、基本計画の推進に資する重要な公的施設であると考え。	パブコメ
343	公文書館の設置意義や果たすべき役割について明記されていないのは良くない考える。	パブコメ
344	仙台市が現在整備を目指している公文書館についても、公文書の適正な管理・保存を通じた行政の効果的な執行に加え、公文書の市民への閲覧公開による生涯学習の推進や市民参画の機会の提供に資することを目的とされており、当該施設もまた、基本計画の推進に資する重要な公的施設であると考え。	パブコメ
345	スポーツ施設等が不足している中、廃校の利用など考えてはどうか。体育館やグラウンド、教室を合宿所として使うなど検討して欲しい。	説明会
346	学都仙台として、奨学金について今後どうしていくのか。	説明会
347	若林城を仙台に取り戻そう。近代歴史教育を小中学生に。	イベント
⑪経済（9件）※再掲含め延べ10件		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
348	農村の多面的活用を図る。市民の生きがいづくりのため、市民農園等の農村に滞在する形での利活用がもっと必要だと思う。農村をアート等のクリエイティブな活動の場所として活用されるような仕組みづくり農村の身近な観光資源を発掘し発信して、農村振興を図る。	パブコメ
349	本計画の前提が市民協働である。「産学官金市民連携」の表記が本計画の目的に叶うものと考え。	パブコメ
350	30年もの間の農業の方針は確実に前例踏襲の言葉の列挙で、いざ地域の産物を生かして、観光につなげようとしてもお米以外ない。第6次化を進めようとしても、加工場一つない、JAに協力特段の協力をお願いしているが、広場の借地料をとられるだけで1件の農家をも紹介していただけない状況である。仙台白菜、仙台名長なす、仙台曲がりネギの次に目指す物は、泉ヶ岳の水神様「清流」で作られた水神米のブランドの確立とその水で熟成された世界一のお酒である。	パブコメ
351	地域経済の分野では、地域の中小企業とそのサポーティングインダストリーの連携を橋渡しし、地域内再投資と地域内経済循環の仕組みを作る。小規模小売業と伝統的な地域商店街を維持し守ることは、地域経済だけでなく、地域コミュニティと暮らしを支える上でも大切であり、公共性がある。大店法制定時の理念に立ち戻り、日用消費財販売における小規模小売業の役割を重視する。	パブコメ
352	69ページの「(4)農林業を振興する」の【担い手】の記述について、次のように修正してはいかがか。「…とともに、青年や女性農業者などの多様な担い手の定着…」→「…とともに、青年農業者の定着や女性の経営・社会参画など多様な担い手の確保…」理由：原案だと、担い手として、青年や女性などの参画がないような受け止め方になってしまう可能性があるため。	パブコメ
353	秋保地区の有害鳥獣対策は急務を要するものである。	説明会
354	卸町にある市場も含めたイベント広場を整備して欲しい。	説明会
355	生活している周りから貴重な緑が失われていくことにとっても残念な思いをしている。市街地やその周りにある農地は、食料を生産するだけでなく、緑の環境を守る、市民の心に安らぎを与える、災害を緩和するなど、市民にとって貴重な役割を果たしていると思う。農業を継続して市街地や市街地周辺の農地が存続できる計画にして欲しい。 提案1.周辺環境と調和しないという条件をなくして、土地利用の転換は抑制する。 提案2.農地の固定資産税の税額を低くするよう国に働きかける。 提案3.農地を保全する重要性を評価し、市としても何らかの補助をする。 提案4.農業後継者育成の策を講じる。	説明会
356	各まちの中の安心した生活の維持と安全な環境づくりについては、各地域において個人商店を含めた専門店が減少している。このことは、高齢化や子どもの育成に大きな力を発揮している地域力の低下につながっている、大型チェーンストアがあれば間に合うと考えるのは短絡的で、彼らは経済の理論で退店を決めている。商店の後継者難も課題だが、国の方針の「引き継ぎ」事業では現実のカバーができず衰退してしまう。地域力維持のためにも、また、就業人口の維持のためにも支援が必要である。	説明会

再掲 (259)	過去の農業に対する基本政策に鑑みても、農業の衰退は激しく、このままでは再生不可能の状態になるのは目に見えている。市政独自で農業の発展のプログラムの始動を始めなければならないと思う。もうマネージメントしなければ里山の農業は10年で崩壊し、農地はソーラー畑だらけとなる。農家の人々は農業をあきらめソーラーに頼るしか生活の手段がなくなっている。ソフトの活用しかない。	パブコメ
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	------

⑫観光（2件）

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
357	貞山運河や海辺を観光資源として十二分に活用して欲しい。	パブコメ
358	交通渋滞の緩和とサイクリングによる観光を推進するため、自転車専用道路を整備して安心して移動できるようにして欲しい。	説明会

⑬都市機能（7件）

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
359	泉区の団地内高齢者の買い物難民化をどうするのかとても心配している。新交通システムの導入を速めて中心地へのアクセスを良くするか、ショッピングセンターの誘致を進めるのか、他の方法もあるかと思うが、迅速な対応に期待している。	パブコメ
360	「仙台に関わる全ての方々とともに」とあるが、青葉区の他区からの流入が多いことや外国人も多い強みを掛け合わせ、地下鉄南北線の黒川郡大和町（吉岡）までの延伸を検討して欲しい。	説明会
361	都市計画街路から抹消された旭ヶ丘駅前から台原、花京院を通り仙台駅前に至る「旭ヶ丘仙台駅前線」の復活を検討して欲しい。	説明会
362	地下鉄の車両を更新する際に、6両化と併せて行った方が費用が抑えられるのではないかと。	説明会
363	新しいパークタウンの街区を中心に、泉区北部に市営バスを進出して欲しい。	説明会
364	市営バスと宮城交通バスが協力して、バス路線を維持して欲しい。	説明会
365	長町や泉中央とともに、「西の愛子・東の荒井」ではなかったのか。ベッドタウンとして住宅地だけではもったいない。商業・オフィスの大規模な誘致を。	説明会

6 計画の推進（36件）

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
366	中間案だけでは「進めます」「つくります」「図ります」となっており、何を意図してつくるか具体的にわからないとパブリックコメントが困難。10年スパンの実施計画（案）は示せないのか。3年程度の実施計画にしても、あと半年後にスタートするのにその案は同時に示せなかったのか。実施計画の策定（内容）に関心を持っている。	パブコメ
367	このたびの仙台市基本計画中間案は、計画の推進にあたり、計画の内容を市民と幅広く共有するとともに、できるだけ多くの市民に、計画の実現に向けたチャレンジに参加してもらうことを目指している。科学館や博物館、市民センターなど、学び・協働の場としての役割を果たす公的施設のうち特に重要なものについては、上述の目的に資するものとして、施設名やその意義・役割などが計画中に明記されているものと認識している。	パブコメ
368	このたびの仙台市基本計画中間案は、計画の推進にあたり、計画の内容を市民と幅広く共有するとともに、できるだけ多くの市民に、計画の実現に向けたチャレンジに参加してもらうことを目指している。科学館や博物館、市民センターなど、学び・協働の場としての役割を果たす公的施設のうち特に重要なものについては、上述の目的に資するものとして、施設名やその意義・役割などが計画中に明記されているものと認識している。	パブコメ
369	なぜ、基本計画と言いながら、数値目標や手段、達成時期を示さないのか。75ページの「計画の推進」を見て初めてわかった。すべては実施計画に委ねるとというのが中間案の構造である。しかしその時、私たち市民は十分な検討と議論の機会が与えられるだろうか。「すでに基本計画は承認されている。」「実施計画は、オーソライズされた基本計画の具体化だ。」それが壁にならないか大いなる懸念材料である。	パブコメ
370	コロナで世の中が大きく変わっている今、スピーディーに対応するには具体策が必要だし、実行、検証を繰り返すことで新しいものが見えてくると思う。デジタル庁を仙台に誘致して、新たな文化や事業を創る、というような過去からの延長線上路線以外にも目を向けたい。	パブコメ
371	8つのチャレンジプロジェクトの優先順位と具体化へのスケジュールを明記して欲しい。10年間の長期目標と具体化した3年間の実施計画を細目テーマでスケジュール化したものを望む。	説明会
372	テーマごとの推進する部局・担当課を明記して欲しい。	説明会
373	地域に関連した開発の計画や整備の計画は、こまめに情報提供願いたい。	説明会

374	具体的にいつからいつまでに何をするのか。その結果や方法が明確にわからないので、具体的に何をどうするのか説明して欲しい。	説明会
375	もう少し具体的な中間案を示して欲しかった。	説明会
376	地元の若い人が参加可能な市政計画のワークショップを開催して欲しい。	説明会
377	障害者への合理的配慮を入れたイベントを設けていれば、障害の有無にかかわらず参加できる。	説明会
378	もっと具体化して欲しかった。	説明会
379	地域の「なるほど」と思う具体的事例に基づいた計画策定をぜひお願いしたい。	説明会
380	市民からの意見を聞いて具体的な計画を立てることにもっと徹底して欲しい。	説明会
381	会場の皆様方からの貴重な発言を実施計画・実現に向けて生かして欲しい。	説明会
382	基本計画の推進は、実行→見直し→実行のチェックと実行が必要であるが、市の補助施策は、当初（1年目）はそれ相当の補助、2年目3年目はおなみだ程度となって、3年間で終了する補助政策が多い。地域への理にかなっているのであれば、終了ではなく継続する補助政策をとるべき。	説明会
383	環境局の説明会と同様の感想を持った。方針や計画のほとんどは、これまでの取り組みをなぞっただけのようなものになっていないか。説明に現在の取り組み事例を今後も続けていくというのは、これからの計画の説明になっていないと思う。	説明会
384	中間案の内容は具体的でなく乏しいと感じた。	説明会
385	ステージに応じたの領域ごとの反省が極めて大切で、それなくして次への展開が期待できない。「Plan-Do-See（見直し検証）」の「See」の部分がしっかり実施されるよう願っている。	説明会
386	幅広い分野を網羅していると思う。基本計画は一般的な概要を示すものなので、特に意見はない。実施計画が楽しみである。	説明会
387	優先順位を決めしっかりと取り組んで欲しい（課題→対応策）。	説明会
388	「新しい生活スタイル（変化していくスタイル）」に対応すべく、変化に対応させながらバランスのとれたフレキシブルな計画をお願いしたい。	説明会
389	我々住民は今回の計画案にどんな参加ができるのか。	説明会
390	8つのチャレンジプロジェクトについては、定量含めた目標値・KPIを設定し、モニタリングしてHPで公表して欲しい。	説明会
391	地域の声を聴いてくれる場がない。計画実施後、途中経過や振り返り、見直しも必要なときも出てくるのではないか。定期的な市民の声も反映する場を設けて欲しい。	説明会
392	仙台市の魅力を伝えて人口を呼び込むとすると、何らかの目標（KPI）は必要だと思う。実施計画のレベルでも構わないので示して欲しい。	説明会
393	総合企画2020やその進捗について、ホームページの方で明示はされているが、できたこと、できなかったことに対し、今後どのように取り組み、今回の計画の目標に近づいていくのかというところを示して欲しい。	説明会
394	チャレンジプロジェクトの具体的なスケジュールについて。今回のチャレンジプロジェクトは非常にメニューとしては総花的であるが、どこから優先的にどのようにやっていくか。 総合計画は10年、実施計画を3年程度というこどだが、実施計画でマイルストーンを意識し、チャレンジのことをスケジュールに落として、これどうやって市民に提示できるのか教えて欲しい。	説明会
395	チャレンジプロジェクトを実施するには、これまでのまちづくり縦割りの組織ではなく、横串的に行う、プロジェクトリーダーが必要ではないか。中堅の活動力のある人をプロジェクトリーダーとして組織の中に据えて、答申をまとめて欲しい。 また、計画の中に責任部局、推進部局のような局や課を明示し、行政側の責任体制を明確にし、市民も一緒に参加して頑張っていくために我々も頑張りますというような表記をして欲しい。	説明会
396	実際事業の進捗状況等、市議会への報告、市民の皆さまにわかりやすい形で、と書いてあるが、学生には全く伝わっていない。学生が見てる媒体であるツイッター、インスタグラム、TikTokなどの媒体を活用して仙台市が地域の魅力をもっと広めてくれれば、大学生も生き生きとして地域づくりに参画していけるのでは。	説明会
397	郡市長は市民協働プラットフォームを立ち上げて、地域ごとの課題を次期計画に反映させるという、公約を出されている。これから実施計画を策定するにあたっては、地域での様々な組織を集めたプラットフォームにより、ボトムアップでつくっていただきたい。	説明会
398	あと6ヶ月で、基本計画スタートするというのに、実施計画がまだできてないのか、皆からの質問を受けるとい、時期的な問題ではちょっと遅すぎるのではないか。	説明会

399	市民協働プラットフォームの代替として、例えば秋保地域であれば、教育、農業、観光、など5つぐらいの分科会を持って実施計画のところまで、みんなで議論してボトムアップしていくと、まち力がついてくるのではないか。	説明会
400	基本計画の中で、数値目標というのはすでに設定されているのか。	説明会
401	未来の計画は大切だが、過去経験（計画案）を振り返るのも必要である。PDCAサイクルを回りながら、小さな一歩でも進んでいければと思う。	イベント
7区ごとの地域づくりの方向性（88件）※再掲含め延べ90件		
(1)青葉区（23件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
402	宮城地区における大きな地域の特性として、町内会活動をはじめとする地域団体の活動が非常に盛んである。そのようなことから、現に活動している団体の独自性等を確保しつつ、地域づくり・地域コミュニティづくりの重要なパートナーと位置付け、地域も地域団体も両輪で発展させていく、という趣旨の言及をいただきたい。	パブコメ
403	愛子周辺地域は子育て世代がクローズアップされているが、10年後のことを鑑みれば、相応に世代の高齢化が進むものと考えられることから、高齢者に関し、保健福祉面からの言及をいただきたい。	パブコメ
404	分区が約束されている広大な宮城地区を、丘陵住宅地域、愛子周辺地域、西部山岳丘陵地域の3地域の括りで行行政策を論ずることは無理がある。西部山岳丘陵地域をことさらに強調して、最も高齢化が進展している地域としているが、P79に記載の図のとおり、広大な面積を一括りにしているので一概に最も高齢化が進んでいるとは言えないと思う。この地域を、従来の岩盤規制の下、厳格な宅地規制を行っているため、相当数の子育て世代が愛子周辺地域へ地域内移動している事実がある。愛子周辺地域の子育て世代が多いのは、宮城地区外からの移動・流入ばかりでないことを指摘する。	パブコメ
405	現在計画されている土地区画整理事業地区には、分区を念頭に置き、以下の施設用地を確保するよう要望する。 ①広大な宮城地区の治安、安全、安心を守る警察所用地 ②現在は太白区の新仙台郵便局の傘下になる愛子郵便局の移転用地 ③コロナ禍等の有事には都心病院と連携できる基幹病院用地（現在、県が提唱している3病院統合構想は、がん系の統合のようだが、都心からの距離・時間等を勘案し最適の位置にあり、誘致すべき）	パブコメ
406	県開発公社が松原工業団を造成するに際し、最後の宮城町長が同団地内に駅用地を確保したが、仙台市との合併時期にあたりうやむやになった経緯がある。合併後、倉内地区住民を中心に、何度か設置運動が起こったが、当時はまだ請願駅制度があり、設置費捻出等ができず計画が中止となった。 市はやっと重い腰を上げて、平成24年から「仙山線鉄道整備促進同盟会」を通してJR東日本へ設置要望を出していることでもあり、また、宮城広瀬総合運動場の利用者が年間15万人に上ること（コロナ禍以前の数字）、二岩地区住民人口が急増していること等を勘案して、早期実現を要望する。	パブコメ
407	現在、愛子駅発着の電車を白沢駅発着とすることで、市の標榜する30分通勤圏のオムニバス計画とも整合性が図られ、また、鉄道沿線のまちづくりの推進の理念に敵うものであり、その延長上に熊ヶ根駅、作並駅周辺の活性化の途が開かれる。	パブコメ
408	白沢駅の北側に再開発事業を起こし、駅前広場を整備しバスターミナルを設け、バスターミナルからはフィーダーバスを発着させ、各地域住民の利便に供するほか、貸し切りバスの運行拠点として、定義・作並・太白区秋保などの観光資源の活性化を図るとともに、山形県天童・山寺・上山・東根等を巡る観光ルートを開発し、広域観光の推進を図る。また、同地区内にスーパーマーケットやホームセンター、薬局店等を誘致し、南部地域・西部地域・北部地域の生活必需品の供給拠点を形成する。	パブコメ
409	白沢駅南側に土地区画整理事業を起こし、アメニティに配慮した広い区画の良質な宅地を供給するとともに、白沢駅と直結するパークアイランドを目的とした無料の駐車場を整備し、国道48号線の渋滞緩和を図る。	パブコメ
410	白沢駅の北部地域から開発整備地域に直結するアクセス道路を新設する。	パブコメ
411	分区の早期実現をするよう市の前向きな対応を要望する。	パブコメ

412	<p>P78に記載の青葉区の位置図によれば、本来ならば中央区と称されるべき青葉区が、山形県境にまで及んでいる。奇異奇観で、他の政令都市では考えられないことである。この図の西部に位置し、86%の面積を占める宮城地区は、愛子盆地中心にまとまった地域であり、まちの成り立ちや歴史、地理地形から三角定義やペンで線を引く必要もなく、分区に最も相応しい地域である。</p> <p>P79に記載の青葉区の地域図は、広大な青葉区を表現するにはあまりにも大雑把である。特に、宮城地区は、街の成り立ちや鉄道、道路、河川等を見無視した3地域区分になっている。これは、上から目線、行政効率目線の地域図としか思えない。すなわち、人口の多い地域を中心に施策を施し、広大な西部山岳丘陵地域は、従来の岩盤区制の下、何も施策しないことを図で示しているようなものである。</p>	パブコメ
413	<p>平成8年、合併協定書で約束された分区条件である「地区人口5万人」を超え、市は行政区画審議会へ諮問、「一つの区の人口が30万人を超えたら、区のあり方を再検討すべき」との答申を得て、分区問題を先延ばしした。平成24年、青葉区の人口が30万人を超えたにもかかわらず、平成26年、当時の奥山市長は記者会見において「青葉区の人口増が、東日本大震災の影響により一時的なものかを見定める必要がある」とし、またもや分区問題を先延ばしにした。大震災から今日までの10年間、青葉区の人口は堅実に伸びている。</p>	パブコメ
414	<p>人口集積地域だけを施策の対象にしているのではないかという疑問がある。分区問題でいう住民自治とは、分区により配分された議員定数により、地区代表者である議員を選出して、行政区長と相まって知育全体の振興に当たることだと思う。住民側から見れば、縁があってその地域・地区に住むことになった人達がいる。旧住民もルーツを辿れば皆「新住民」のはずである。そして、知己・地区の代表者である自前の議員を選出し住民自治を全うすることにあると思う。市の人口集積地や新住民重視の行政スタンスは間違っていると思う。地域のごく一部の有力者声を抛り所に、分区問題の決着を図ることなどはあってはならないと考える。</p>	パブコメ
415	<p>地域温暖化により、台風による大雨や洪水が増している。地域の避難経路は主に国道457であるが、冠水が4カ所程あり避難経路にならない。今回の基本計画の第一は、防災計画と避難所の整備、経路の確保ではないか。宮城地区（西部）の現状を考察し、安全・安全のまちづくりをして欲しい。</p>	パブコメ
416	<p>宮城地区の持つ課題と将来のあり方については、具体性が見られない。</p>	説明会
417	<p>区制については、現況に合った区名にすべきで、分区する場合は「中央区」とするのはどうか。</p>	説明会
418	<p>愛子周辺地域と西部山岳丘陵地域は、他の地域と政策課題が大きく異なっており面積も広いため、分区を考えるべきで、課題として計画にも明記すべき。太白区の秋保地区も同様の課題があるのでは。</p>	説明会
419	<p>30年前の合併時の計画の進行はどこまで行われているのか、改めて説明して欲しい。特に、宮城地区の区制についてどのように考えているのか知りたい。</p>	説明会
420	<p>区ごとの地域づくりの方向性の防犯力を高める活動について。中間案83ページには、各種組織、団体の連携と書いてあるが、高齢化が進んで子どもたちの登校時の見守り活動のボランティアに参加する人が少ない。登校時間にできれば公務員がその時間だけは参加できるような、市としての援助などを検討して欲しい。</p>	説明会
421	<p>平成22年度までの総合計画にある愛子及び周辺地域と今回の基本計画中間案の愛子周辺地域の内容が非常に似ている。前の総合計画その成果がどの程度であったかの結果、アセスメント評価。それをきちんと実施し、新しい計画を立てていくべきではないかと思う。</p>	説明会
422	<p>中間案の79ページでは、愛子周辺地域のインフラ整備は、大体の目途がつき、それ以外は、宮城地区にはこれから10年間は大きなプロジェクトは計画されていないというふうにつまえられる。この愛子周辺地域というのは、中間案39ページの土地利用方針図では、どこまでの範囲なのか。</p>	説明会
423	<p>住宅規制区域の見直しについて。上愛子以西の白沢駅前まで規制解除になれば、国道48号線と仙山線との間の活性化が見込まれるが、やってもらえるのか。</p> <p>また、中間案73ページの鉄道沿線のまちづくりを推進するという項目に関連し、白沢駅と直結するパークアンドライドの無料駐車場の整備、国道48号線の渋滞緩和、北部地域から開発整備地域に直結するアクセス鉄道の新設など、交通インフラを整備するにより、西部地域等の高齢化、過疎化を緩和し、活性化を検討できないか。</p>	説明会
424	<p>分区について。宮城地区は、歴史的なことがあって、この辺に触れてないのが気になっていた。</p>	説明会
(2)宮城野区 (10件)		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法

425	青葉区の西公園に相対する歴史ある榴岡公園域は、区民のみならず市民の健康憩いの場として、災害・防災拠点としての整備を要望する。さらに、仙台駅東口の開発拡充策の一環としてさまざまな機能の充実を求める。	パブコメ
426	律令時代から東街道・塩竈浜街道と交通の要衝の原町地域の社会学習で古来からの歴史学習を行い、「今現在の原町」を再認識して行政の中心区役所・JR原町駅・物流の45線と原町地域との関わりを検証して、総合活性化策を講じて活性化意識を涵養して開発する。	パブコメ
427	幸町地区は工業地域から商業・住宅地へと移り変わって長年になる。子どもたちを育てやすいまちづくり、未来を創る子どもたちが健やかに自由に遊べる大きな公園を作りたい。私有地の少ない幸町地区だが、民営化になるガス局三丁目の土地を公園に利用してもらえないか。近くには公民館や保育所などが隣接しており、交通量も少なく最適な場所だと思う。広大な土地である。地域の人々や子どもたちの憩いの場として、活躍していくと思う。ぜひ検討してほしい。	パブコメ
428	宮城野区の地域づくりの方向性の第1に「海辺のふるさとをつくる」を位置付けていることを高く評価する。	パブコメ
429	宮城野区らしい区民参加の形で構築された計画であり素晴らしいと思う。	説明会
430	宮城野区の方向性として「シンボルエリアをつくる」とあるが、どのような取り組みをするのかももう少し具体的に知りたい。	説明会
431	区別計画における海岸部の情報が少なすぎる。海岸部の今後が全く見えない。	説明会
432	宮城野原貨物駅の移転跡地に関して、森林公園というか文化とスポーツが楽しめる地区になるよう期待している。そのあたりの進捗について教えていただきたい。	説明会
433	仙台港後背地の地図をグーグルマップで地図を見ていると空き地ばかりが目立つ。名古屋港や大阪港など南の方の太平洋ベルトにある工業港から拠点を仙台に誘致することができるのではないかな。	説明会
434	榴ヶ岡公園について、もっと賑わいをつくっていくにはどうしたらいいのかを考えたときに、何かイベントを定期的に行ったりしていくのがいいのではないかなと思った。ホームページで調べたところ、榴ヶ岡公園パークPFI事業というものがあつたが、打ち切りになっている。結構いい事業だと思ったが、なぜなくなったのか。その榴ヶ岡公園について何かプロジェクトとか何か施設を立ち上げるって動きはあるのか	説明会

(3)若林区 (12件) ※再掲含め延べ13件

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
435	若林区の地域づくりの方向性として、「海辺を楽しむ視点」を入れて欲しい。特に荒浜は、震災の慰霊の場所、自然災害を学ぶ場所ではあるが、仙台市民にとって最も身近な海辺である。この辺一帯を市民が海辺を楽しむ場所として積極的に位置付けて欲しい。	パブコメ
436	水路についての記述、「現在は、やや生活から遠くなりつつある水辺について」といった形で現状を確認する表現も入れてはいかがか。	パブコメ
437	水路についての記述、震災復興の過程では、一時的に生き物が育つ環境が損なわれる面もあつたが、時間をかけて少しずつ取り戻すようなことも考えられる、といった視点を入れてはいかがか。「メダカの里親プロジェクト」のような取り組みもある。	パブコメ
438	「農業や水辺を活用した新たな学びの場づくりに取り組む」のはよいと思う。ただ、ことへの近道は、なんといっても楽しむこと。「農業や水辺を活用し遊びながら学ぶ新たな場づくり」といった表現にしてはいかがか。	パブコメ
439	正直、市政に不信感がある。以前市政だよりに「高妙堀通りのにぎわいづくり」という予算が組まれていたが、一度もにぎわっているところを見たことがない。花が置いてあるだけ。	パブコメ
440	若林区荒浜地区とは名取川を挟んで歴史的なつながりを持つ名取市閑上地区の住人として、今後、沿岸部他市との交流を深めていく構想のもと、海辺における両地区共通の題材（例えば朝日）を魅力的に発信するイベントを企画・実践していくというプランを提案したい。また、景観だけではなく、生物多様性（例えばスナガニ）に注目した海岸の再生策も一考の価値があると思う。震災後10年を迎えるにあたり、特に「心の復興」にも寄与する将来計画が真に求められているのではないかな。	説明会
441	若林区は、旧市街（荒町・連坊・河原町）と荒井地区との交流がない。コロナの終息がいつになるかわからない中で、地域づくりや各団体の横のつながりができない状況である。足元も見たい。	説明会

442	学院大の新キャンパスが市立病院の跡にできるということは期待はしているが、市立病院の跡地は仙台駅からの徒歩圏内である。学生が実際に住むのか、教職員の方がどの程度、異動するのかわからないはずだが、既に学生が地域協働と一緒に、まちづくりに関わっていただくことを前提に作られている。果たして、若林区にどの程度の地域づくりに入っていただけるのかどうか、学生は4年経って、大学を出たら、もう仙台離れてしまうのではないかと思う。その4年間も、果たしてまちづくりに一緒に関わってくれるかどうか、非常に疑問。	説明会
443	自然環境の保全について、これまでは住民の協力を得ながらというような形で、環境を維持してきたとのことだが、荒浜地区は災害危険区域に指定されていて、住民が不在である。深沼ビーチクリーンという形で海岸清掃の活動をしているが、そこで出てきた問題を共有する機会がない。住民不在の地域での環境維持、治安の悪化を感じている。そのような点はどのように考え、今後の基本計画に入れていくのか。	説明会
444	若林区は人口増えてるが、被災地域については減少しており、土地も空いてる。新型コロナウイルス感染症の影響により首都圏から仙台に移り住む選択肢として出てくると思う。そういった中で、その土地は安くて広くて、環境的には良いが、転入してきた人が、新築できずに断念したケースが結構ある。地元の活性化と、人が住むことによって、自助共助がなくならず、限界集落にならないような状況をつくって欲しい。	説明会
445	若林区の地下鉄沿線地域は、地価が上昇したものの、まだまだ回遊性がないように感じるので、駅周辺に賑わいができる箱[場所]があればいいと思う。	イベント
446	東には田園も多いので、地域特産品グランプリなどのイベントなど催すのも良いかと思った。農業園芸センターでのイベントはあるが、周知が少ない。	イベント
再掲 (431)	区別計画における海岸部の情報が少なすぎる。海岸部の今後が全く見えない。	説明会
(4)太白区 (29件) ※再掲含め延べ30件		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
447	10年後の秋保の担い手を育てるための取り組みを紹介できたことは、地域の理解と協力につながったと思う。	説明会
448	二口峡谷については行政機関のPRが不足している現状があり、今後は重点的に整備し、山形県とともに発展させることが大切である。	説明会
449	秋保の大きな課題は「移動手段」であると思う。	説明会
450	秋保の未来を考えて活動している多くの方がいるが、ずっと秋保に住んでいる方に理解してもらえていない現状がある。お互いが理解し合うのはとても時間がかかり、良い案も立ち消えてしまうかもしれない。点と点を線にするのは大きな力が必要。仙台市に期待したい。	説明会
451	秋保地区の少子高齢化や人口減少などについての対策を検討して欲しい。	説明会
452	秋保地区まで地下鉄が延伸すれば、観光資源にもなると考える。	説明会
453	10年先、子どもたちが太白区に住んでいてよかったと言ってもらえるよう各方面の方々をお願いしたい。	説明会
454	太白区の地域づくりの方向性に「自分らしく」とあるが、さまざまな福祉説明会でもっともらしく使われてきている。「自分らしく」とは何のことか説明できる人はいるのだろうか。この言葉を入れることで、差別化・区別化を正当化するものにならないだろうか。「ともに支えあい、誰もが健やかに暮らせるまち」でいいのではないか。変な修飾語は不要である。	説明会
455	名取川右岸地域の浸水に対する地域全体の防災力向上について、名取川は広瀬川との合流により水害に対する危機管理が非常に大事だと思う。名取川が氾濫する可能性がある。	説明会
456	落合にポンプ場があるが。もう一つのポンプ場はポンプがないことである。実施計画にはポンプ設置について記載して欲しい。	説明会
457	避難所周辺には内水で避難できない状況である。早急にポンプの設置をお願いしたい。	説明会
458	防災計画の中で、水害対策として津波対策はある程度進んでいるが、豪雨などによる浸水区域の中に高所避難施設が全くない。内水氾濫も想定されるため、名取川周辺に高所悲観施設を数カ所建設することを検討して欲しい。	説明会
459	現総合計画における公共交通について、太白区の中では、交通の利便性が高く、充実した住環境を形成、持続するまちづくりを目指すとなっていた。ただ、今回出されている中間案では、多様な主体との協働による交通手段の確保、となっているが、なぜ前の文面なくなっているのか。	説明会

460	地域の交通を形成していくということについては、極めて重要と考えているが、太白区の中で住んでいる、特に丘陵地で生活している人については、地下鉄東西線が運行したことによって、バスが減便、あるいは廃止され、非常に不便だという意見がある。この点で、地下鉄東西線運行される前のバス路線に戻し、住民の皆さんと話を進めながら有効なバス路線をつくって欲しい。	説明会
461	利便性の少ない路線について、乗り合いタクシーに移行するというのを、仙台市で現在検討されてると聞いているが、住民の皆さんの意見もよく聞いた上で練り上げて欲しい。	説明会
462	日赤前の住宅造成地と八木山本町との間に、鉤取の私有林があり、災害の急傾斜地に指定されている。そこは松林が生い茂っており、毎年松くい虫防除をしているようだが、一部の住宅で火災ができた場合、松の木は火災に弱いので、一帯に広まってしまう。あの地区は、平たんに急傾斜地を是正してもらい、周りには火災に強い木を植えるようにして、真ん中はみんな健康広場のように整備して欲しい。	説明会
463	健康サロンでの健康相談会、介護予防などの講座を月1回は最低でも実施するようと、専門家と相談して方向性まとめたが、地域包括センターに相談するのは難しい。町内会にそのようなものを相談するのであれば、市の健康の担当責任者と、町内会なり連合町内会で具体的に詰めて、それぞれの地域の実態に合うようやって欲しい。	説明会
464	中田地域について、これから10年間の計画の中に、老人包括支援センター、あと図書館つくる予定があるのか、なければつくって欲しい。	説明会
465	長町の駅前。「いろはや」から広瀬橋までの車道が4車線だが、2車線にして欲しい。要するに歩道広げて欲しいのと、それから「いろはや」さんの交差点をスクランブル交差点にして欲しい。	説明会
466	秋保地区においては、高齢化率40%で人口も大幅に減少し、若者も市街地の方に流出しており、町内会も非常に少ない、立ち行かない状況を危惧されている。秋保地区において、空き家もあり、それで移住促進を図るようなことだが、他市町村のように300万と500万とか、補助金を交付し定住していただくというような事業を積極的にやって欲しい。	説明会
467	秋保地域の項目について、漠然としていて何をやろうとしてるのかわからないため、実施計画ぐらい具体でないと、なかなか意見が出てこないと思う。近隣市町村においては、計画書を読むとかなり書き込んで、指標も示しており、計画書作りにあたっては、首長以下、幹部が住民の意見をきめ細やかに聞いたうえで策定している。	説明会
468	子育て世帯が引っ越してきても、子どもを預ける学童保育所が湯元にはあるけどここにはないと言われ、去年から地域から要請を受けて、町内会としてそのことを話しているのだが、なかなか難しい。そのあたりのフォローをしっかりとって欲しい。	説明会
469	秋保地区の課題として、周りにコンビニやスーパーなどの商業店が少なく、遠いところまで、買い物に行かなくてはならない状況である。そして、地域では高齢化が進んでおり、車などを使って、遠いところまで行ける人が少なくなっている。今は、自動運転技術が発達しており、無人で車が運転できるようにもなっているため、それを利用して、高齢者への食料の提供などを行えるようにして欲しい。	説明会
470	最近都会で使われている、ウーバーイーツを秋保地域でも利用できれば、車を使えない高齢者や、買い物をする時間のない人が便利に買い物ができるのではないかと。操作方法もAIなどを使って注文した方が効率がいい。音声理解の機能では、スマートスピーカーによる音声認識もでき、曖昧な言葉でも自然に言語処理を行うことができる。食材注文用の電話番号を誰でもわかりやすいよう4桁くらいに設定するといいい。	説明会
471	秋保をスマートタウンにするために、どのようにすればいいのか考えた。iPadを年配の方に提供し、診察、心のケア、健康チェック、医者との連携に加え、買い物、食事を一つにできる5G対応のアプリがあれば良いのではないかと思った。	説明会
472	秋保を巡回するバスがあれば、交通手段ができ、中学生やまちの方々の生活がさらに便利になる。	説明会
473	秋保の少子高齢化に向けて、まずは秋保を知ってもらおう第一歩として、観光地としてのPRをして欲しい。	説明会
474	放課後児童クラブ、要するに学童保育について、特に馬場小、それから秋保小でかなり苦労されてる。NPOを立ち上げればうまくいくのではないかと考え、提案したい。	説明会
475	ITなどを扱える若い世代と違って、秋保の場合は高齢者が多いため、情報の収集発信の仕方というのも考えて欲しい。	説明会
再掲 (418)	愛子周辺地域と西部山岳丘陵地域は、他の地域と政策課題が大きく異なっており面積も広いので、分区を考えるべきで、課題として計画にも明記すべき。太白区の秋保地区も同様の課題があるのでは。	説明会

(5)泉区 (14件)

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
476	いいところ取りの西部地区の紹介である。現状は、廃れ行く里山と根白石。50年変わらない泉ヶ岳岩切線の現状から、仙台市市政の中で取り残された地域ではあるが、泉ヶ岳の自然に対する、仙台市民に貢献しても、リスペクトされない地域でもある。しかし再生の糸口もある。里山田園の地域の拠点づくりを進め、秋保、作並、定義、根白石の観光による、連携構想である。第一に、地域の拠点となる、農産物の販売拠点の設置から始まる。泉西部の地区には、農業公園（新養種園と販売の交流センター）が起爆剤となるよう設置を求める。	パブコメ
477	泉区役所庁舎の高層化（スリム化）し、余地を公園や高層オフィス、マンションを整備するのはどうか。	説明会
478	学院大のキャンパス移転に伴う、若者のまちづくりの担い手の減少への対策については、泉区外に泉区のまちづくり団体（学生向け）の拠点、活動場所を設置してはどうか。市中心部等の多くの学生が集まりやすい場所に設置し、休日等に泉区への現地調査などを行えたらと考える。学生の多くは市営のフリーパスを利用しているが、このフリーパスを大学やバイトに行くためだけのものにせず、普段行くことのない場所へのきっかけとしたい。	説明会
479	まちづくり団体の参加者には、フリーパス購入に補助を行うなど、泉区の若者の担い手を確保するとともに、公共交通機関の利用者を増やしていけたらと考える。	説明会
480	新しい泉庁舎の計画の中に、民間企業（商業・ホテル等）も組み込んで設計するのはどうか。	説明会
481	泉区内の各地域からのアクセスが泉中央の1点に集中し、地下鉄駅周辺に交通アクセスが一極集中して混雑（渋滞）が解消されない導線が気になっている。将来的にどう変化させていくか気になっている。	説明会
482	泉区について、若者が多い、若者の視点を取り入れた情報発信をしたいなどがあるが、ご承知の通り学院大が五橋に統合されるということで、泉区にもかなりの学生が今は通学なり、居住してると思うが、移転される2023年の影響をどのように考慮されているのか。	説明会
483	ニュースで新型コロナウイルス感染症の影響により交通局の経営が厳しいということを見た。さらに宮城交通もコロナ前の水準にまで増便するのに時間がかかっている状況。泉区は、市バスがあまり展開してない。これからの泉区の交通を考える上で、バス、地下鉄などの公共交通をどのように考えているのか。	説明会
484	新たなニュータウンとなる朝日街区をどのようなまちにしていきたいのか伺いたい。	説明会
485	今までの計画では、泉と長町は「副都心」とされていたが、今回の計画では「拠点地域」となっており、格下げされた印象がある。都心というと、総合的にいろいろ拠点性を持つ表現だが、今は交通結節拠点と扱われる部分が強調されている。	説明会
486	学院大の移転跡地の利活用について、もし学院で使い切れないのであれば、欲しいと思うところもあると考える。学芸関係など引っ張ってきてもらえれば、地下鉄や人口の減少も少なくなるし、まち全体が活性化すると思うので、ぜひそのあたりも取り組んで欲しい。	説明会
487	泉ヶ岳について、歩道などしっかり整備されていない。皆さんが行ってみたいという山にすれば、もう少し、仙台市としても魅力になるのではないかと。泉区だけでなく、仙台市全体でももう少し目を向けてもらいたいと思う。	説明会
488	現計画は2011年の震災の年から10年間の計画であった。その中で最大の10年間残された泉区における課題はなんであったのか。	説明会
489	この10年間で、泉区として、何を最優先に進めて行くのか。	説明会
8 資料編（1件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
490	資料編の「東日本大震災」の用語の説明が「深さ約24kmを震源とする地震」となっているが、深さは24kmで確定しているため、「約」は不要である。	パブコメ
9 その他計画全般について（50件）		
No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
491	「自然や生きものへの愛着をはぐくむ」ことは、震災被災者、いじめ等により自死を選択されてしまう方々、その環境に触れる事により良好な影響をもたらすと考える。動物等の保護を行う事も大切で、無意味な住宅開発拡大を止める事や、野生動物を一方的に射殺することで結論づける事を止め、共存共栄、その方向性も取り入れるべきだと思う。それらの方々が活力を再生するようなランドデザインがあれば、更に良いと思う。	パブコメ
492	まず先頭に「総合戦略」を出して欲しかった。	パブコメ

493	基本計画作成に当たりトップダウンでなく、市長の選挙公約通り「町内会・等による市民参画による協働プラットフォーム」を立ち上げ、地域の課題をボトムアップで基本計画に反映させるようにして欲しい。	パブコメ
494	案にはから（空）の出来事を掲載する、やりたいではなく「やるんだ」という決意・評価し、反省・前の積み残しはないか、積み残しは今期案で解決しようという決意が大切。	パブコメ
495	大変きめ細かく策定され多くの市民の意見が反映されたことが理解できた。	パブコメ
496	整備過剰やコロナ禍での廃業もあるので、横丁商店街などの歴史的文化も大事に生かして欲しい。	パブコメ
497	まちづくりは地域の個性を生かしてそこに住む市民が提案してその声が反映され、行政がその声に基づき実行する事を望む。	パブコメ
498	本計画で示された8つのチャレンジプロジェクトは妥当なものとする。特に『みんなのせんだい未来づくり～チャレンジを続ける新たな杜の都へ～』イベント（10月4日開催）で示されたとおり、行政のみが主体ではなく市民協働で作りに上げていく目標とのことで、仙台市の持つポテンシャルを発揮できる素晴らしい計画であるとする。	パブコメ
499	全体的に、一般的な口当たりのいい抽象的な表現のみで頁を稼いでいて、内実・中味がない。P51以降は、項目を羅列、書き出しただけに見える。「図ります」「進めます」「行います」だけである。	パブコメ
500	学都の現状と詳しい分析、それをどうしていくかがない。	パブコメ
501	コンサルタントに依頼しているのか。市担当とどのような役割分担をしているのかわからないが、このまま進めるのであれば、後日、市と、審議会委員の方々への厳しい意見が生まれることになる。	パブコメ
502	一つ一つの取り組みは魅力的で実行できれば素晴らしいと思う。	パブコメ
503	仙台市民が安心して住める楽しく暮らせるまちに！もっともっと市民にアピールして欲しいと思う。	パブコメ
504	基本計画を読んで感じる印象は、極めて牧歌的だということである。コロナ失業は一時的で収束したら回復できると楽観しても良いのか。それらが中間案からは全く見えない。市民の暮らしが抱える困難を白日の下にさらし、その問題の解決に自治体として何が出来るか。それこそが基本計画の第一の課題、目標でなくてはならない。公共サービスとセーフティネットを充実させて、「再分配」を機能化させることが大切である。	パブコメ
505	現在の基本計画（2011～2020年度）の記載内容を“ある程度達成した”ので、今回新たな内容をたくさん記載しているという認識で良いか。計画策定から10年も経過すれば、社会状況も変化し、計画を立て直す必要があることはもちろん理解しているが、達成できた部分や積み残してきた部分に分からなかった。願わくば、現計画のレビューも新たな基本計画に付加して欲しい。	パブコメ
506	東北大学教授の苦言「仙台には必要なものはあるが、ドキドキ・ワクワクするものがない」本当に同感である。アンケートに答えるだけでなく、参加したいので仙台市総合計画審議会委員になりたい。多様な人の意見が必要だと思う。病気の人の代表として。#病気の人の生きづらさ解消と仙台震ワクワクドキドキを具現化してきましょう！！#スケート都市仙台ONE TOHOKUの活動を応援する。	パブコメ
507	幸せ度ランキング第39位の宮城県。悲しく情けない。10位以内に入って欲しい。	パブコメ
508	区別計画がよくわからない。自分の住んでいるところがどんなところか知りたいと思ったが、のっぺりしていて特色もなく、これからは期待できない。何を指すのかももっと具体的に示して欲しい。	パブコメ
509	各項目について抽象的であったり、今までの考え方を整理しただけのものであったりと、新鮮さや力強さに乏しく感じる。	説明会
510	横文字の理解に時間を要した。	説明会
511	市民の力を信じて、多様な意見を尊重する行政を期待している。	説明会
512	仙台独自のまちづくり、いろいろなアイデアを生かして魅力的なまちを共につくっていきましょう。	説明会
513	仙台は素敵なまちだと思う。自分なりに今できる地域貢献をやっていきたい。共に学び合いながらソフトパワーで良いまちにしていきたい。	説明会
514	昨年9月14日に新総合計画に仙台の女性たちが声を届けるプロジェクトに参加して1年が過ぎた。今回の中間案に声は届いているのか。写真等は使用されているようだが、内容は具体的なものがないと思った。	説明会
515	地域の具体的な要望等は、別に意見する場を設けるべきだ。反映する場がないから、この機会にと思っている人が多い気がする。意見を反映させることは良いことだと思うが。	説明会
516	ぜひ基本計画達成のために努力していただきたいと思う。期待している。	説明会
517	仙台市の高齢化率は24%、太白区は25%に対し、太白地域は44%となっている。地域によってかなり差がある。計画では少子高齢化が挙げられているが、地域の特性を考え特性に合わせたキメの細かい計画となるようお願いしたい。	説明会
518	素晴らしい計画だと思う。	説明会

519	基本計画の推進の実施者は人である。高齢者としては、計画から実施まで「熟年班」を設置し、いきいきはつつらつ100歳まで元気に議論させて欲しい。	説明会
520	多くの方が地域づくり（まちづくり）に熱意を持たれていることを改めて感じ、心強く感じた。	説明会
521	基本計画は理念やプロジェクト、地区の方向性も素晴らしい内容である。	説明会
522	共有する際のイメージとしては、「総合戦略」があって、基本計画や実施計画があると思っていた。	説明会
523	仙台市5区でそれぞれの課題がある。基本計画では、市民一人ひとりが関心を持つよう市政だよりやニュース、新聞等で多くの情報発信をすることが大切だと思う。	説明会
524	頑張ってもらったことに感謝。	説明会
525	10年間で課題が変化していると感じる。	説明会
526	昨年12月末に、「新総合計画に仙台の女性たちが声を届けるプロジェクト」参加メンバーの1人として、市長へプロジェクトメンバーがまとめた提言を届けた。昨年秋に話し合った多くの理想が中間案にも盛り込まれていることに気付いて説明会に参加して良かったと思っている。	説明会
527	総合計画のような「計画もの」は、ややもすると「言葉遊び」になりがちなので、より具体性の強い内容にして欲しい。	説明会
528	基本計画の作成これまでご苦労様でした。	説明会
529	さまざまな分野の人々が集い、審議されたということで大変良い内容になっていると思うが、横文字が多すぎるような気がする。グローバル化・多文化共生という点からすれば、いろいろな言語が使用されるのは大変良いとは思いますが、基本は日本語だと思う。日本語では回りくどい、印象が薄い表現になってしまうということであれば仕方がないが、もっと日本語を大事にして表現をして欲しいと思う。	説明会
530	行政計画なので仕方がないが、多くの心地よい言葉・キーワードが総花的に散りばめられていて、ポイントが分かりにくかった。	説明会
531	これだけの方向性を考えるだけでも大変な作業だったと思う。これから具体的にどう進めていくのか楽しみに期待している。本市の意見を聞くこともでき、貴重な体験だった。ありがとうございました。	説明会
532	中間案は、市の現状や課題を受けて今後の可能性を創出するための施策をまとめたものであると思うが、その根拠となるデータに、住民や市・区に携わる人々の意見や生活の実態を意識した内容が不足しているように感じた。「現場の」実情をもとにした施策の立案・実施を期待する。	説明会
533	現計画は2011年の震災の年から10年間の計画であった。その中で最大の10年間残された課題はなんであったのか。	説明会
534	基本計画としては概ね良いと思う。	イベント
535	仙台市の今までの傾向として、無難な施策しかやってこなかったと思う。誰が見てもやるべき、正しいと思われる施策も大事だが、それだけであれば他の都市の中で埋もれていくだけだと思う。ぜひ日本で、そして世界の中でも仙台が特化してやっていることを認識してもらえそうな施策を、本気になってやって欲しい。	イベント
536	このような市民からの意見交流の機会が増えると、大事なことが具体的にになっていって良いのではないかと考えた。	イベント
537	中間案は大変分かりやすかった。来年度の完成したものを見るのが楽しみである。	イベント
538	計画が進んでいけば良いと思う。	イベント
539	魅力的なまち、住みやすいまち、仙台市民が自分たちで何度も楽しめるリピートできるまちづくりになって欲しい。	イベント
540	人が集まるまちになれば良い。	イベント

2 パブリックコメントや中間案説明会、市民参画イベント に対するご意見（24件）

No.	ご意見・ご提案等の概要	聴取手法
541	チャレンジプロジェクトについて、深く内容を知りたい。	パブコメ
542	説明会での質疑応答の際には、「～取り組みを通じて」「～を図るとする」という起承転結が見えない。	パブコメ
543	外国人留学生や労働者からもそれぞれの自国のやり方を参考意見として聞くべき。	パブコメ
544	説明会を始める前に、基本計画の位置付けや狙い、続く実施計画との関係を丁寧に説明すれば、質問内容も建設的な意見が出たのではと残念に思った。	パブコメ

545	市が考えるまちづくりは長期的であらゆる角度からまちづくりが考えられているが、もっとわかりやすく、簡潔で具体的な例を挙げて提案して欲しい。情報の少ない市民が「仙台市基本計画（中間案）」に対するご意見を言う事は難しい。	パブコメ
546	とても短い期間のパブコメで戸惑った。	パブコメ
547	パブリックコメントで200字というのは少なすぎるのではないかと思う。協働という意味も含めて、意見は受け止めるべきだと思う。	パブコメ
548	中学生の発言の場をいただき感謝している。	説明会
549	いろいろな人の考えや自分の意見も話せたので、良い機会となった。	説明会
550	この説明会を機に、自分の住むまちなどについて少しでも興味を持って考えてみたい。	説明会
551	知ることができた。	説明会
552	とても勉強になった。	説明会
553	盛りだくさんの課題やニーズの中で丁寧に回答いただいたと思う。	説明会
554	中間案については、理解できることがあった。今後も説明会があれば良いと思う。	説明会
555	「～取り組みを通して」「～を図ることとする」と起承転結が見え、推し図られる展開にしたなら、会場内からの質問内容も意に沿ったものになったのでは。ただし、郡市長の概要説明及び質問者に対する対応はわかりやすくソフトタッチでとてもよかった。	説明会
556	この説明会に参加しなければ、内容が詳しくわからなかったし、関心や興味を持つこともなかった。参加して良かったと思う。今後も仙台市基本計画に興味を持っていきたい。	説明会
557	質疑応答活発で良い。もっと具体的な応答であれば。	説明会
558	イメージや構想的な説明を中心に構成された説明会だった。今後の具体的な立案と発表を期待したい。	説明会
559	このたびの我がまち仙台市基本計画に大いに期待する。3.11後の復興もほぼ終わりが見えてきた今、次世代に向けての近代都市構築に、仙台市全体を視野に入れた基本計画案が出されたことは誠に興味深い。市民への説明会を重ね、官民で知恵を出し練り上げてこそ最良の計画案となる。新たな杜の都を築こう！	説明会
560	説明会の壇上や市の幹部にも男性だけでなく女性や若い人を登用したり、外国人の人や障害のある人など、もっと多様な人が、政策とかこういう説明会の場に来るようにして、本当の意味で、市民のいろんな多様な意見を尊重するような行政の運営をして欲しいと思っている。	説明会
561	①～⑧のチャレンジプロジェクトについて、スライドの中では具体事例を紹介いただけたが、基本計画だけ見ても実際にどのような活動が行われているのかわかりにくいと感じた。そのため、実際の活動事例や、代表者の連絡先等が載っていれば、計画を見た市民もどんどん参画しやすいのではと思った。	イベント
562	概要版を読んだだけではわからないことが、参加してみて良く内容を理解できた。	イベント
563	これまで何度もいろいろと提案したが、聞き流されるだけだった。市政に関心がありやる気のある人の気持ち下がりが、他県への流出へつながるだろう。参加したくても参加できない。社会問題解決はボランティアだと思わないで欲しい。多様な意見を取り入れるために、有識者だけでなく苦しんでいる当事者もメンバーに入れるようにして欲しい。	イベント
564	計画案について広く市民からの意見を集めるこの様な機会を設け、将来に向けた仙台市の強い意気込みを感じた。	イベント

3 具体的な事業へのご要望など、上記に分類が困難なご意見（89件）